

2022年度上期 投資家説明会

2022年11月16日



本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。

為替レート（月末TTM）

	21/9末	22/3末	22/9末
1ドル	111.95円	122.41円	144.81円
1ユーロ	129.90円	136.81円	142.32円

本資料における計数、表記の定義

SMFG	三井住友フィナンシャルグループ（持株会社）
SMBC	三井住友銀行
SMBC信託	SMBC信託銀行
SMFL	三井住友ファイナンス&リース
SMBC日興	SMBC日興証券
SMCC	三井住友カード
SMBCCF	SMBCコンシューマーファイナンス
三井住友DS	三井住友DSアセットマネジメント
SMBCAC	SMBC Aviation Capital
主要現地法人	SMBCバンクインターナショナル、SMBCバンクEU、三井住友銀行（中国）
連結	三井住友フィナンシャルグループ連結
BC単体	三井住友銀行単体
経費（BC単体）	臨時処理分を除く
業務純益	一般貸倒引当金繰入前
親会社株主純利益	親会社株主に帰属する当期純利益
リテール事業部門（RT）	国内の個人向けビジネス
ホールセール事業部門（WS）	国内の法人向けビジネス
グローバル事業部門（GB）	海外ビジネス
市場事業部門（GM）	市場関連ビジネス

- **相場操縦事案および非公開情報の不適切な授受について、11/4に金融庁宛に報告書を提出し、今後の対応策を開示**
- **全社をあげて改善・再発防止に取り組み、信頼回復に努めるべく、内部管理強化に向けて追加の人員投入・システム対応も実施
(経費：▲100億円 IT投資：▲20億円)**
- **相場操縦事案による連結粗利益への影響は
上期で▲250億円と限定的**

アジェンダ

I	上期実績	5
II	中期経営計画の進捗	23
III	資本政策	36
IV	将来に向けた取組	42
	Appendix	45



I. 上期実績

業績サマリー

期初策定の通期業績目標比、連結業務純益58%・親会社株主純利益72%の進捗
 連結業務純益・親会社株主純利益の通期目標を、それぞれ12,650億円・7,700億円に上方修正

	(億円)	22年度 上期	前年 同期比	通期目標
1 連結粗利益		16,324	+2,011	
2 営業経費 (経費率)		▲9,626 59.0%	▲866 △2.2%	
3 持分法投資損益	進捗率	521	+214	12,650
4 連結業務純益	58%	7,219	+1,358	12,350
5 与信関係費用		▲831	▲565	▲2,100
6 株式等損益		921	+109	
7 その他		▲48	+58	11,200
8 経常利益		7,261	+960	10,600
9 特別損益		▲14	+19	
10 税コスト		▲1,937	▲263	7,700
11 親会社株主純利益	72%	5,254	+694	7,300
12 ROE		10.3%	+0.9%	

連結粗利益

為替影響(+1,220)に加え、国内外の法人貸出の増加と付帯取引の獲得、好調な決済ビジネスを主因に増益

営業経費

為替影響(▲600)に加え、Fullerton Indiaの連結化影響とSMCCの新規顧客獲得好調に伴う変動費上昇により増加

持分法投資損益

東亜銀行にかかる持分変動益計上により増益

与信関係費用

コスト発生が前年同期比で増加するも戻入も相応にあり、期初の予想の水準内で推移

株式等損益

ETF売却益が減少した一方、政策保有株式売却益(680、YoY+320)は増加

Fullerton India 連結化影響 (概数、億円)

連結粗利益	+270	与信関係費用	▲50
営業経費 (のれん償却等を含む)	▲220	親会社株主純利益	▲30
連結業務純益	+50		

(参考) 主要グループ会社の業績

SMBC

	(億円)	22年度 上期	前年 同期比
1 業務粗利益		9,282	+1,817
2 うち資金利益		6,115	+1,229
3 うち投資信託解約損益		313	+2
4 国内		3,533	+546
5 海外		2,582	+683
6 うち役務取引等利益		2,222	+552
7 国内		946	+87
8 海外		1,275	+465
9 うち特定取引利益+その他業務利益		936	+35
10 うち国債等債券損益		▲634	▲911
11 経費		▲4,438	▲255
12 業務純益		4,845	+1,562
13 与信関係費用		▲635	▲885
14 株式等損益		842	+266
15 その他臨時損益		363	+313
16 当期純利益		3,998	+1,135

SMBC以外の主要グループ会社

(左：22年度上期実績、右：前年同期比)

(億円)	SMCC	SMBCCF ^{*1}	SMBC日興 ^{*2}
業務粗利益	2,142 +165	1,377 +20	1,235 ▲861
経費	▲1,793 ▲151	▲613 ▲6	▲1,588 △59
業務純益	351 +18	727 ▲24	▲353 ▲803
当期純利益	148 +0	319 ▲52	▲248 ▲568

(持分法適用)

	SMBC信託	三井住友DS 50%	SMFL ^{*3} 50%
業務粗利益	248 +29	183 ▲7	1,254 +171
経費	▲180 △43	▲152 ▲4	▲582 ▲85
業務純益	68 +72	31 ▲11	733 +103
当期純利益	59 +61	19 ▲9	375 +16

*1 前年同期比は再編影響を遡及反映

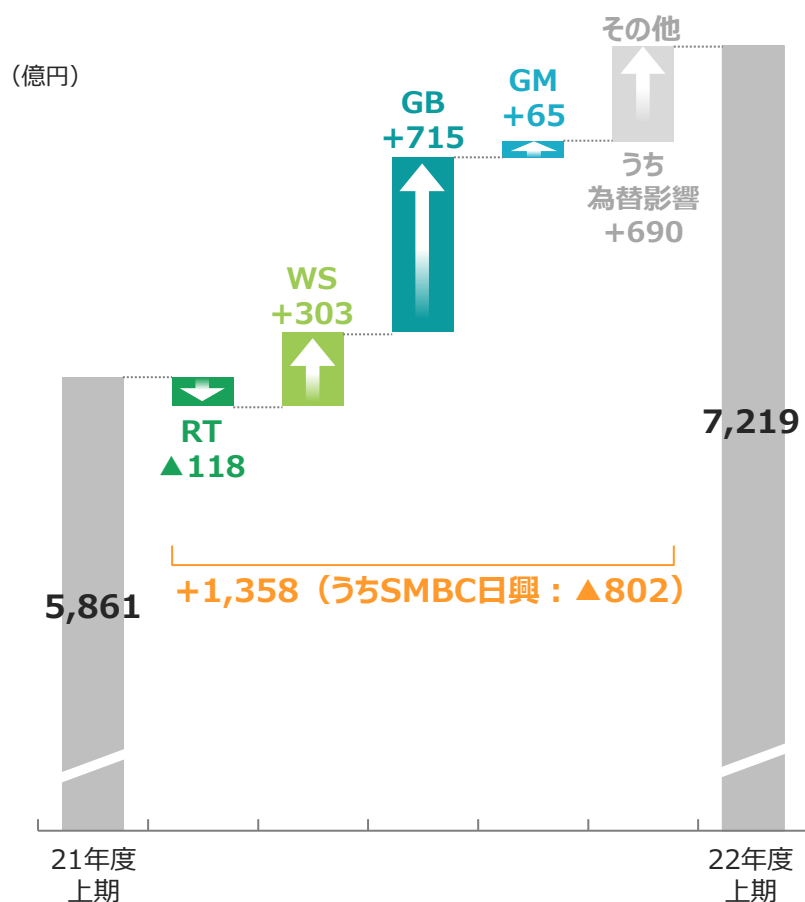
*2 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益を含む内部管理ベース *3 内部管理ベース

連結業務純益

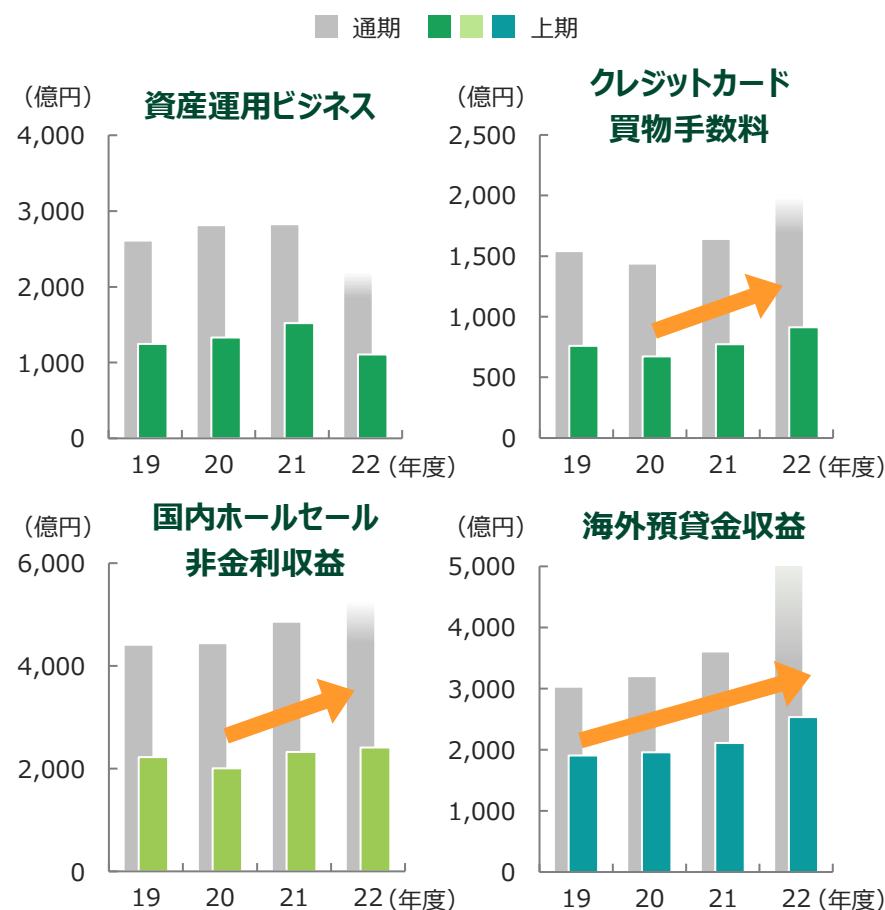
連結業務純益は7,219億円で上期での過去最高益を記録（前年同期比+1,358億円）

SMBC日興および、資産運用ビジネスの苦戦によるRT部門の減益を、他のグループ会社・事業部門でカバー

増減の内訳



ビジネスライン別（粗利益）

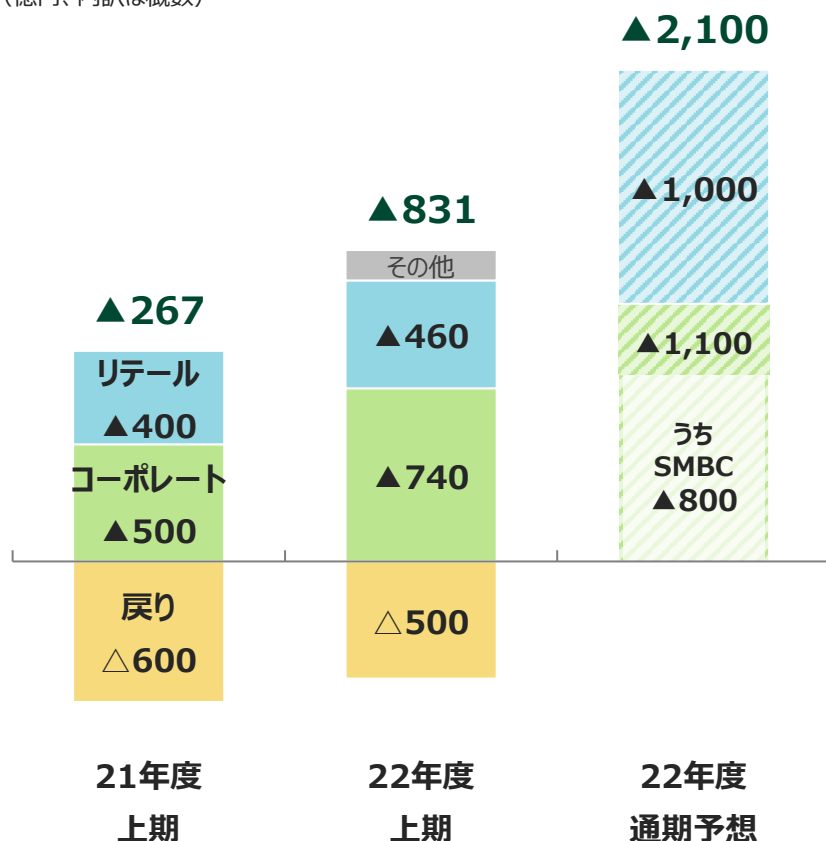


クレジットコスト・ロシア影響

上期のクレジットコストは前年同期比では増加するも、予想の水準内で推移

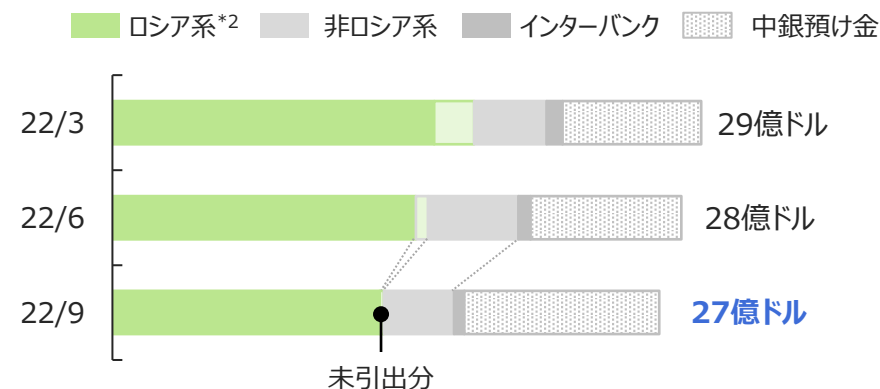
クレジットコスト

(億円、内訳は概数)



ロシア影響

ロシア向け与信*1



航空機リース

- 21年度に▲470億円の機体減損を実施 (機体簿価の52% – 保証金等)
- 今後状況の変化が生じた場合は、追加減損も検討 (最大▲460百万米ドル*3)
- 全ての機体は保険に加入、保険会社宛に申請済

*1 内部管理、最終リスク国ベース。SMBCと現地法人における貸出金、コミットメントライン、保証取引、出資金等

*2 プロジェクトファイナンス、船舶ファイナンス含む *3 持分勘案後

通期業績目標の上方修正

連結

(億円)	上期		通期	
	期初目標	実績	期初目標	修正目標
連結業務純益	6,000	7,219	12,350	12,650
与信関係費用	▲1,000	▲831	▲2,100	▲2,100
経常利益	5,200	7,261	10,600	11,200
親会社株主純利益	3,500	5,254	7,300	7,700

- 為替前提の見直し^{*1} (+600)
- 本業の好調 (～+300)
- 不透明な環境への備え (～▲600)
- 株式売却益の上振れ (+300)

BC単体

(億円)	上期		通期	
	期初目標	実績	期初目標	修正目標
業務純益	3,700	4,845	7,300	8,400
与信関係費用	▲400	▲635	▲800	▲800
経常利益	3,600	5,414	7,100	8,500
当期純利益	2,600	3,998	4,900	5,900

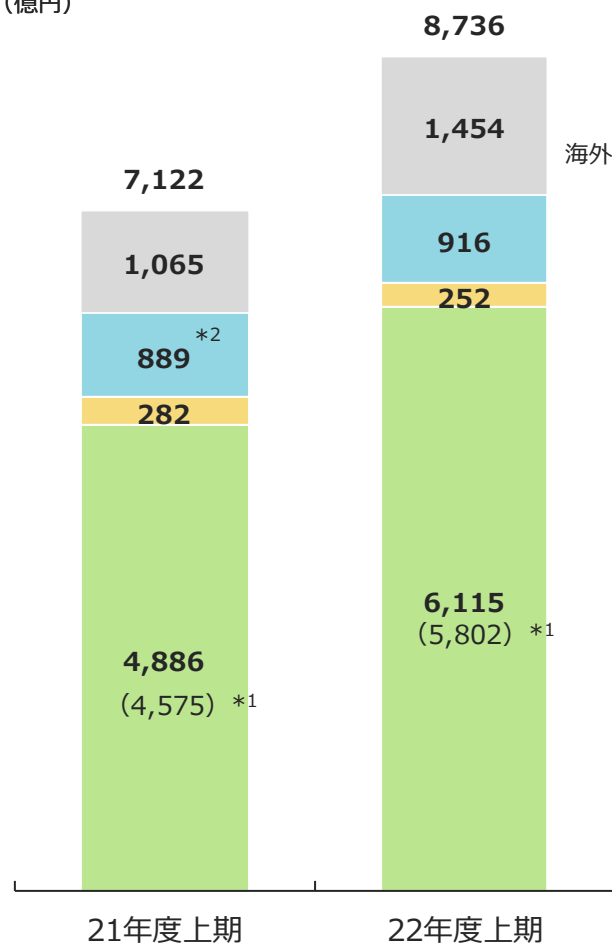
*1 120円/USD⇒140円/USD

連結粗利益

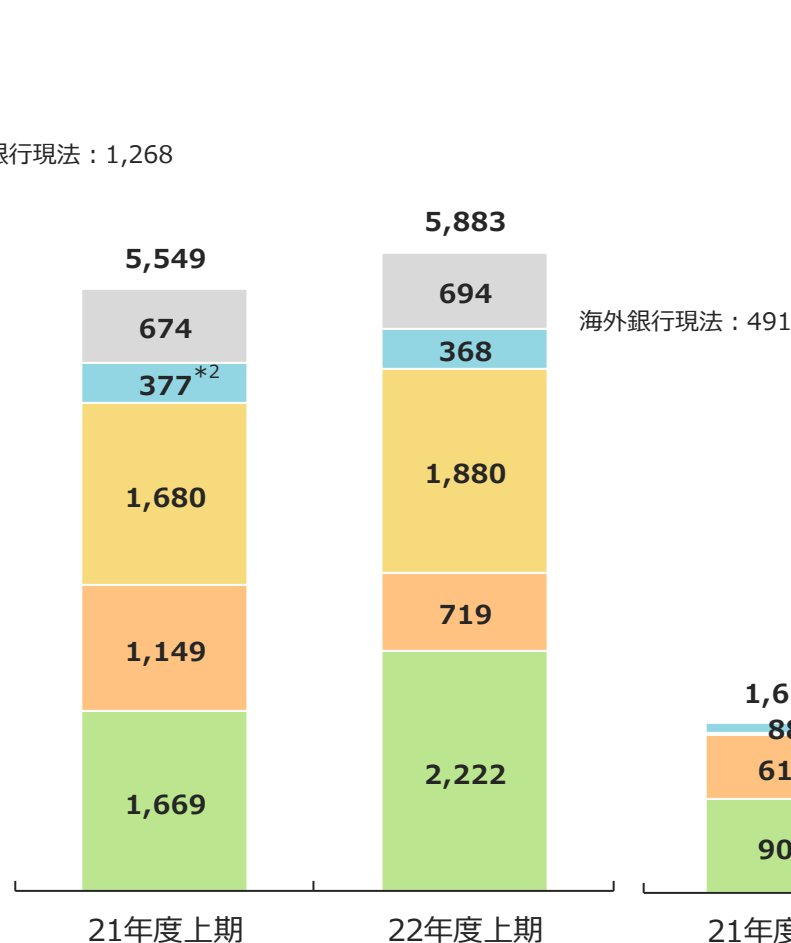
■ SMBC ■ SMBC日興 ■ SMCC ■ SMBCCF ■ その他

資金利益

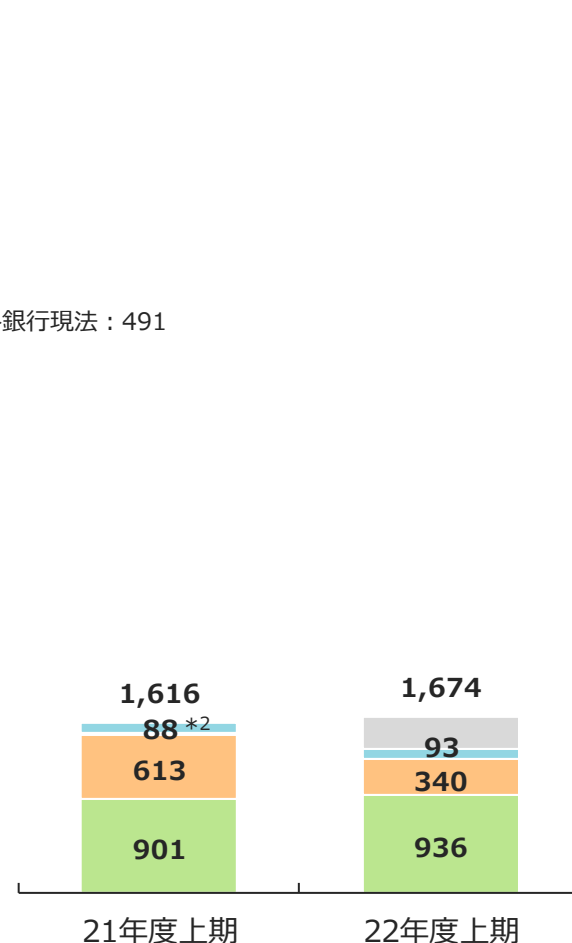
(億円)



役務取引等利益



特定取引+その他業務利益

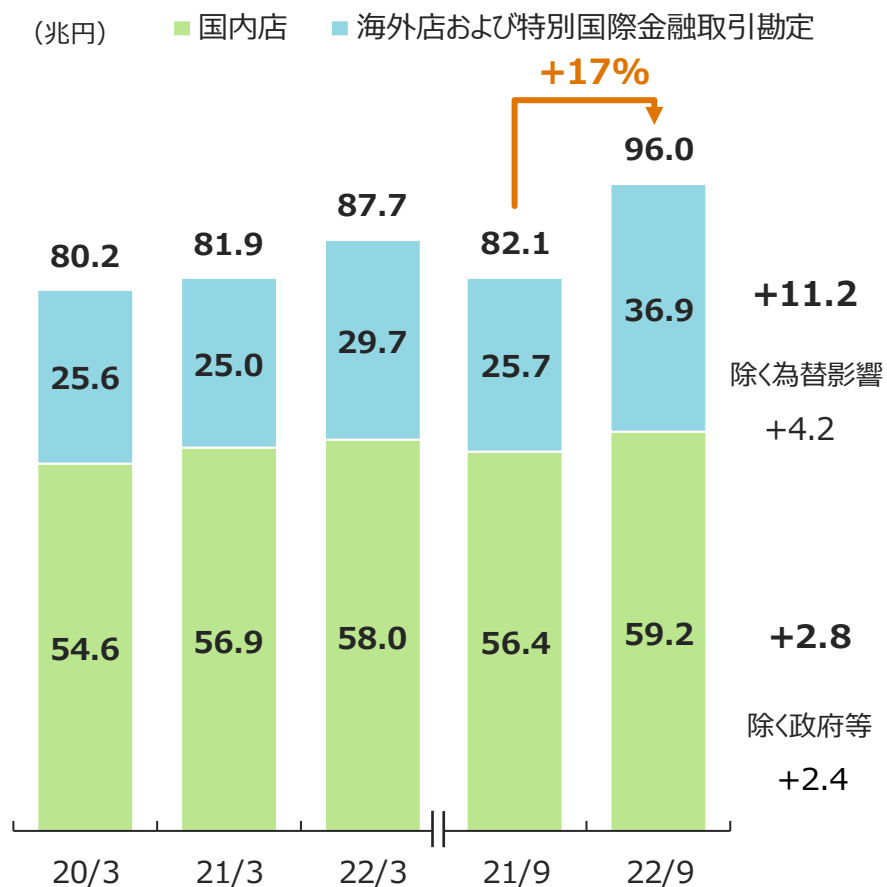


*1 投資信託解約損益を除く *2 再編影響遡及反映

貸出金*1

国内・海外ともに法人からの資金需要は底堅く、スプレッドも改善傾向

貸出金残高



国内預貸金利回差

(%)	22年度 上期	前年 同期比	1Q	2Q
貸出金利回	0.84	▲0.01	0.83	0.84
預金等利回	0.00	△0.00	0.00	0.00
預貸金利回差	0.84	▲0.01	0.83	0.84
(参考) 政府等向け貸出金控除後				
貸出金利回	0.85	▲0.01	0.85	0.86
預貸金利回差	0.85	▲0.01	0.85	0.86

期中平均貸出金残高・スプレッド*2

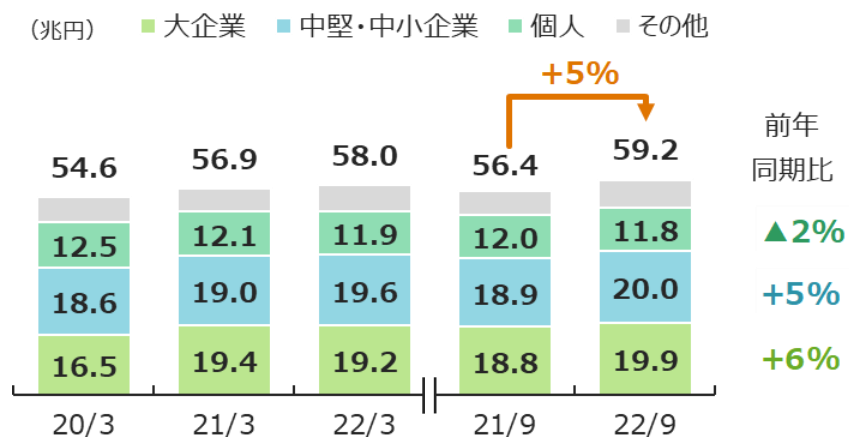
	平均残高 (兆円)		スプレッド (%)	
	22年度 上期	前年 同期比*4	22年度 上期	前年 同期比
国内貸出	57.0	+1.8	0.71	▲0.00
除く政府等・SMFG向け	54.5	+1.6	0.74	▲0.00
うち大企業	19.3	+0.6	0.55	+0.02
うち中堅・中小企業	19.7	+0.7	0.62	+0.01
うち個人	11.9	▲0.2	1.36	▲0.03
GB運用資産(億ドル)*3	3,578	+390	1.22	+0.02

*1 BC単体 *2 内部管理ベース

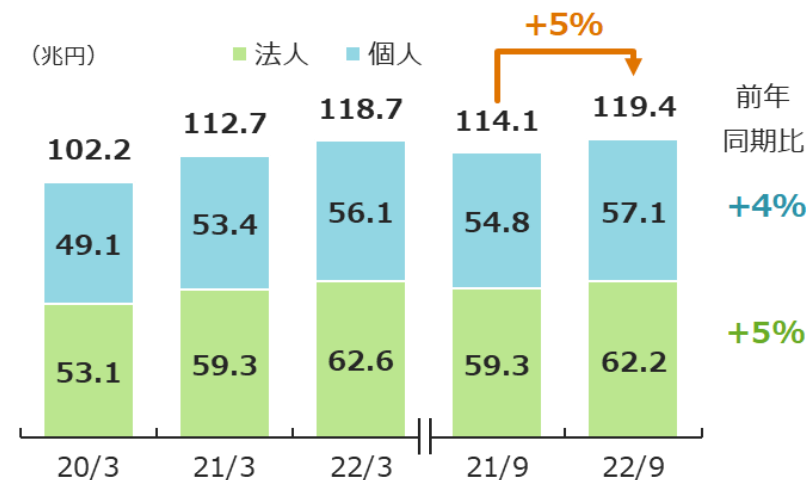
*3 SMBC、主要現地法人、SMBC信託等の合算。貸出金・貿易手形・有価証券の合計 *4 為替影響等調整後ベース

国内預貸金*1

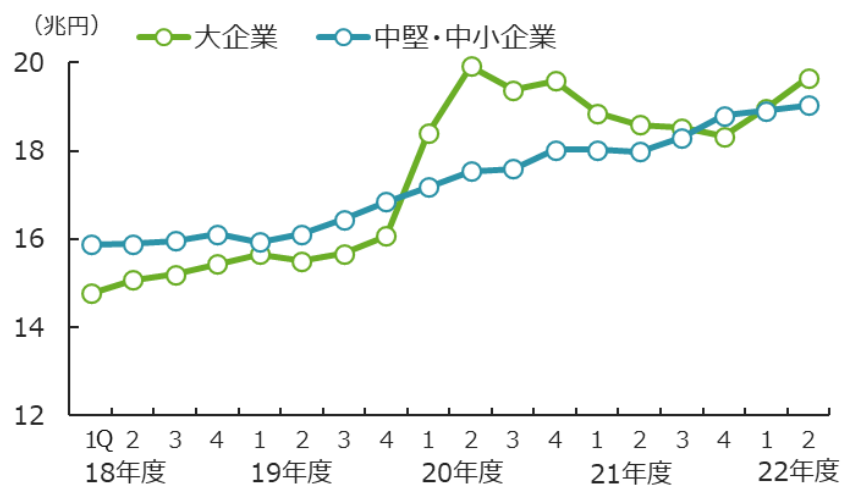
貸出金残高*2



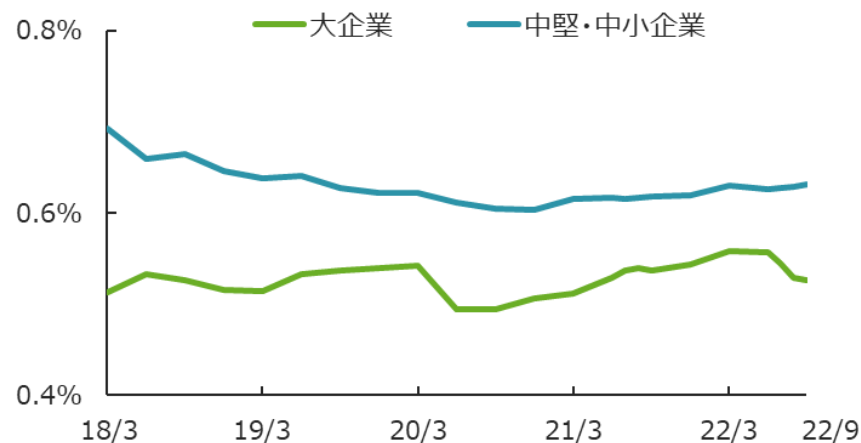
預金残高



法人向け平均貸出金残高*2,3



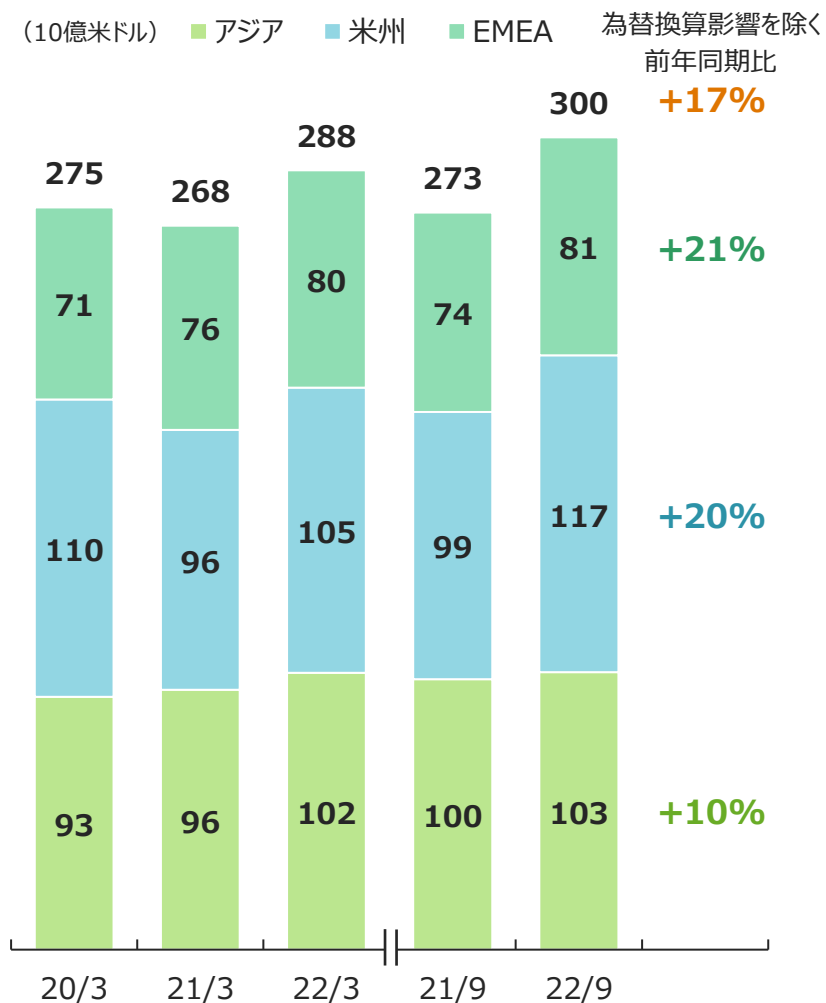
法人向け貸出金スプレッド*2,4



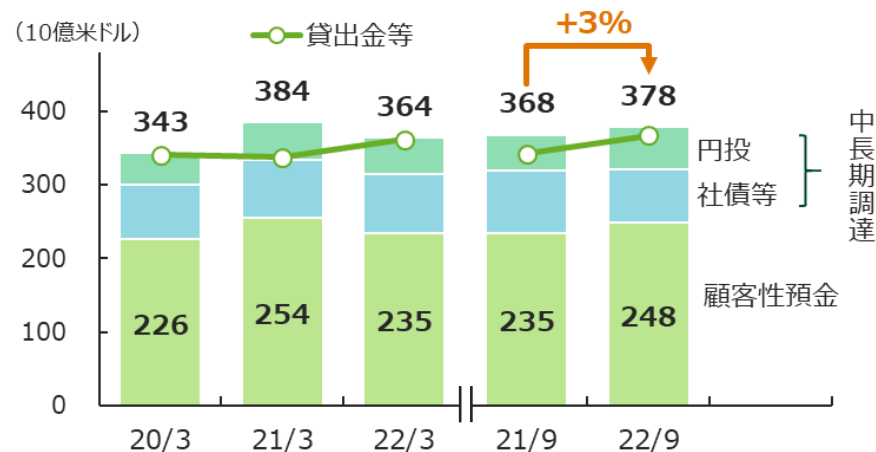
*1 BC単体 *2 内部管理ベース *3 四半期平残、政府向け等を除く。中堅・中小企業はエリア企業向けを除く。
*4 ストックベース、政府向け等を除く

海外預貸金*1

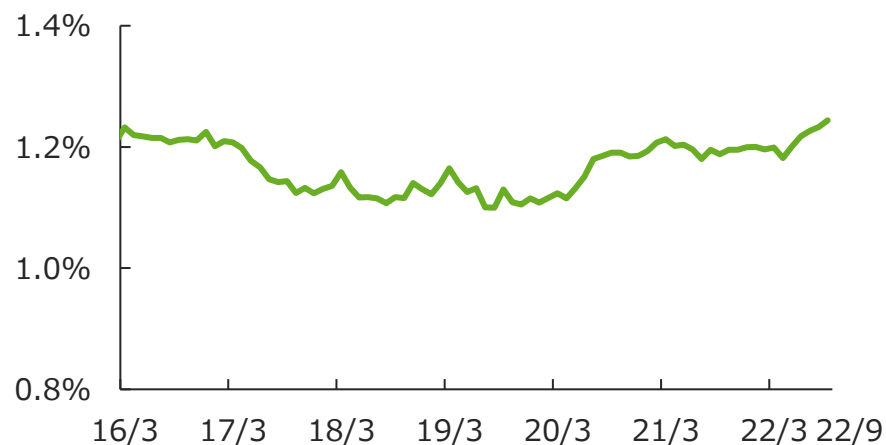
貸出金残高



外貨ファンディング



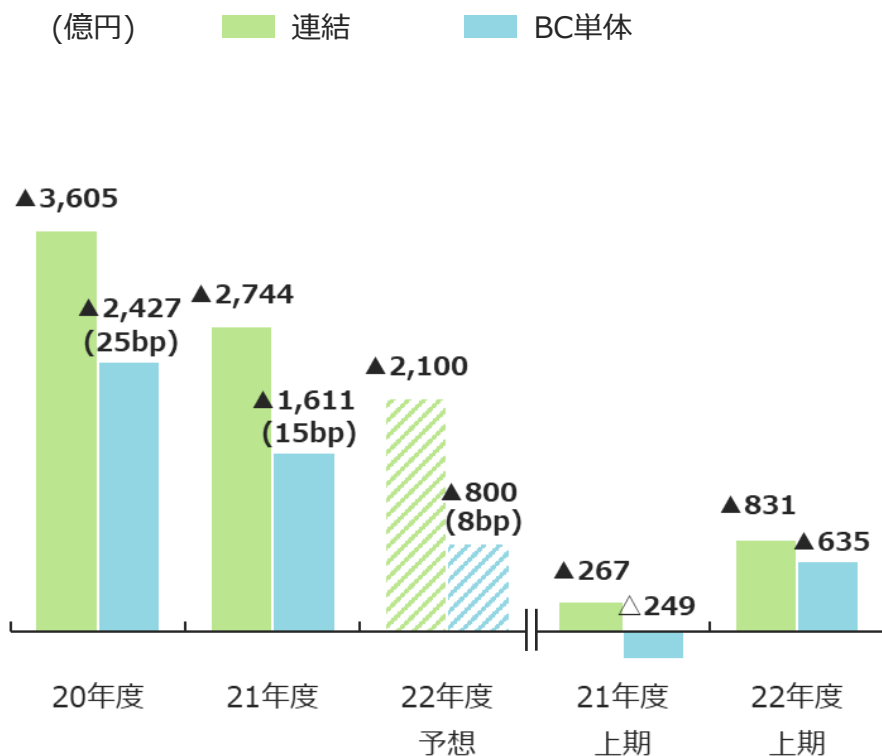
貸出金スプレッド*2



*1 内部管理ベース。SMBCと主要現地法人の合算 *2 月次、ストックベース

アセットクオリティ

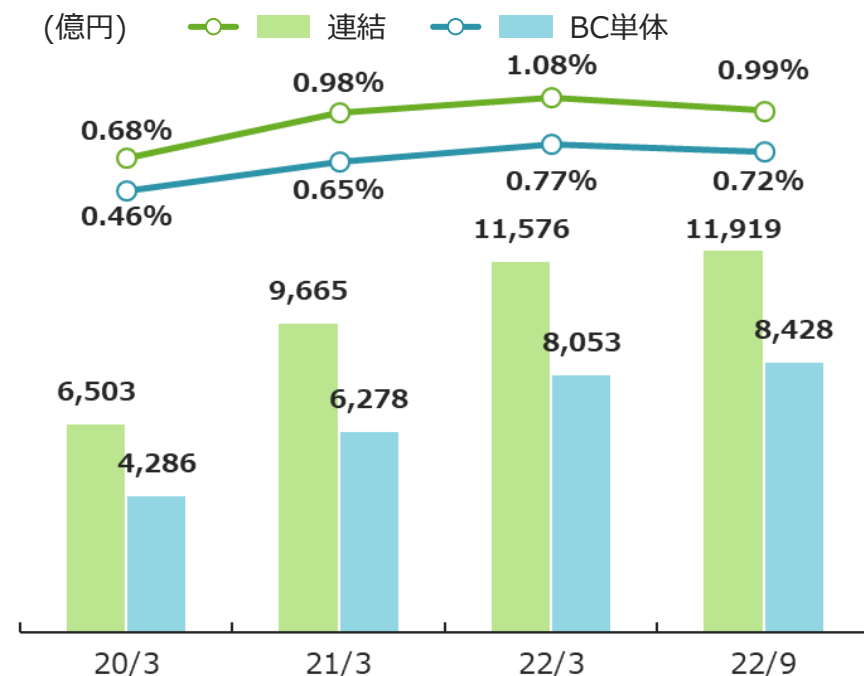
与信関係費用*1



連単差の主な内訳 (概数)

(億円)	22年度上期	前年同期比
SMBCCF	▲ 310	▲ 20 ^{*3}
SMCC	▲ 150	▲ 40
BC海外現法	△ 30	△ 120
為替差損益にかかる調整	△ 230	△ 230

不良債権残高*2



総与信末残

(兆円)

連結	99	107	120
BC単体	96	104	117

その他要注意先 (除く要管理債権)

BC単体	1.9	1.9	1.9
------	-----	-----	-----

*1 与信関係費用比率 = 与信関係費用 / 総与信

*2 不良債権比率 = 銀行法及び再生法に基づく債権残高 (除く正常債権) / 総与信 *3 再編影響を遡求反映

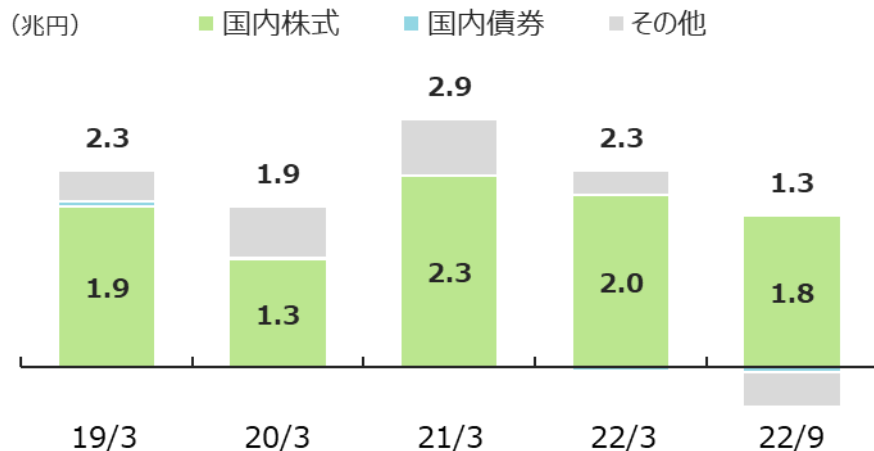
有価証券①

その他有価証券の内訳（連結）

(億円)	残高		評価損益	
	22/9末	22/3末比	22/9末	22/3末比
合計	317,619	▲63,530	13,187	▲9,585
国内株式	32,224	▲1,810	17,907	▲2,429
国内債券	138,140	▲57,463	▲672	▲172
うち 国債	99,881	▲57,861	▲484	▲13
その他	147,255	▲4,258	▲4,048 ^{*1}	▲6,985
うち 外債	124,197	+3,641	▲10,493	▲6,005

ヘッジ取引も活用し、リスク量はコントロール

評価損益の推移

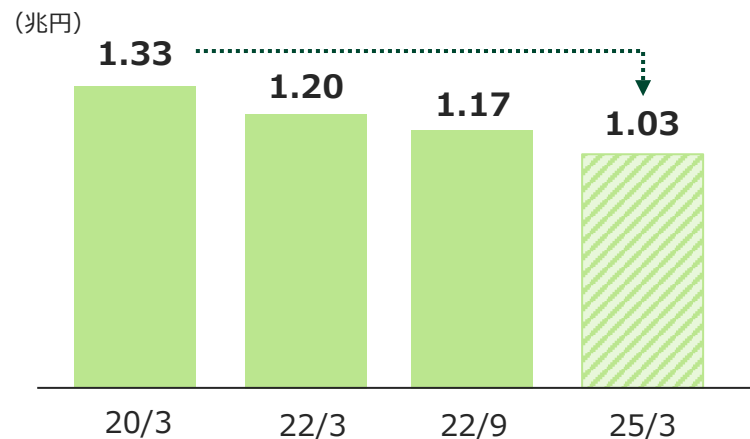


政策保有株式

削減額	1,520億円
20年度	550億円
21年度	670億円
22年度上期	300億円
未売却の売却応諾残高	660億円
削減・応諾済総計	2,190億円

削減計画^{*2}

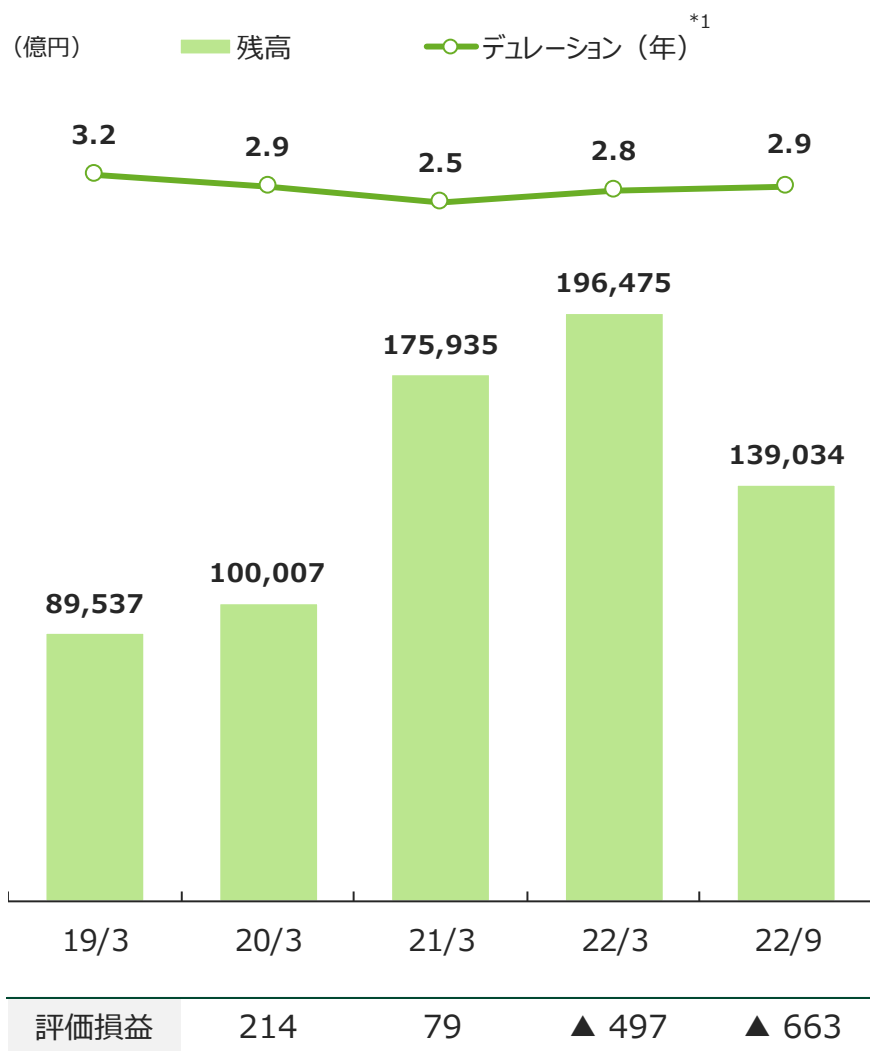
2020-24年度（5カ年）で△3,000億円削減



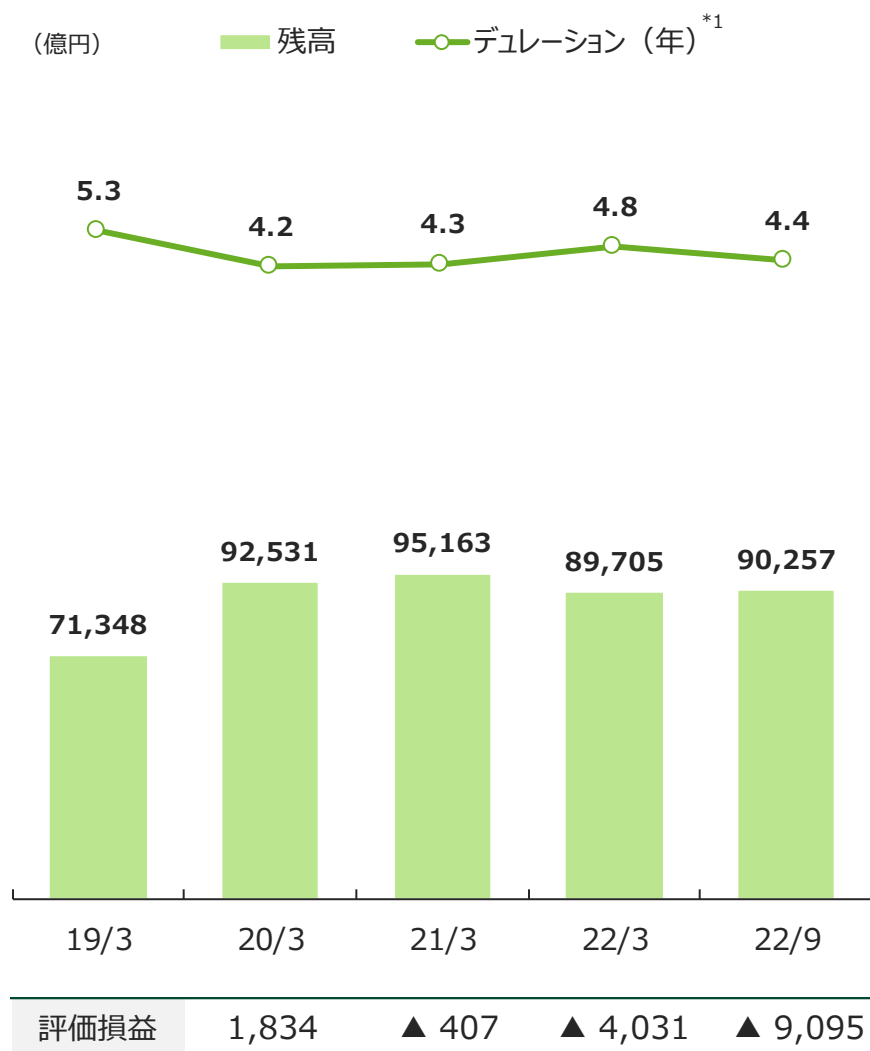
*1 外国債券との差額は外国株式等 *2 20/3末以降の業務提携目的の出資を除く

有価証券②

円債 (BC単体)



外債 (BC単体)



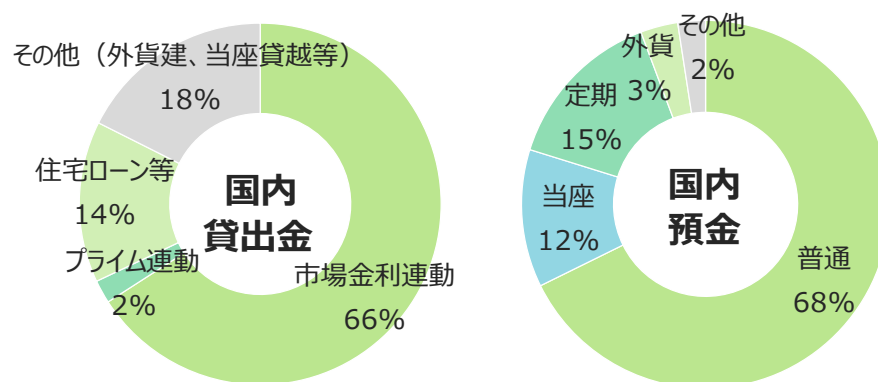
*1 内部管理ベース。ヘッジ会計適用分・満期保有分を除く、私募債を含まず

バランスシート

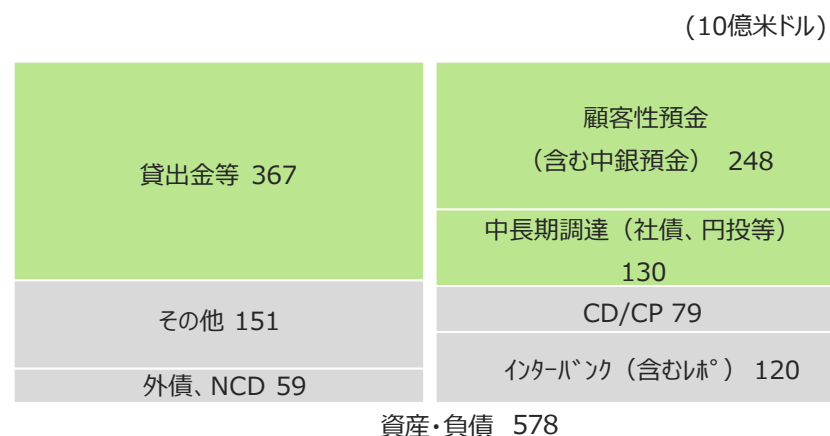
連結B/S

(兆円)	22/9末	22/3末比
資産の部合計	271.7	+14.0
うち 現預金	70.8	▲ 4.0
うち 日銀当座預金 (BC単体)	51.6	▲ 7.0
うち 貸出金	100.9	+10.0
うち 国内貸出金 (BC単体)	59.2	+1.2
うち 大企業 ^{*1}	19.9	+0.6
中堅・中小 ^{*1}	20.0	+0.4
個人 ^{*1}	11.8	▲ 0.1 ^{*2}
うち 有価証券	32.6	▲ 6.0
うち その他有価証券	31.8	▲ 6.4
うち 株式	3.2	▲ 0.2
国債	10.0	▲ 5.8
外国債券	12.4	+0.4
負債の部合計	259.0	+13.5
うち 預金	157.1	+8.5
うち 国内預金 (BC単体)	119.4	+0.7
個人	57.1	+1.0
法人	62.2	▲ 0.4
うち 譲渡性預金	14.5	+1.4
純資産の部合計	12.8	+0.6
預貸率	58.8%	

貸出金・預金の構成比 (BC単体) ^{*1}



外貨B/S^{*1,3}



*1 内部管理ベース *2 住宅ローン証券化分 (22年度上期: 413億円) の加算調整後 *3 SMBCと主要現地法人の合算

資本・リスクアセット

	22/9末	所要水準 ^{*1}
自己資本比率		
総自己資本比率	15.63%	11.5%
CET1比率（完全実施基準）	13.69%	8%
除くその他有価証券評価差額金	12.4%	-
CET1比率（バーゼルⅢ最終化）	10.6%	8%
除くその他有価証券評価差額金	10.1%	-
外部TLAC比率		
リスクアセットベース	24.45%	18.0%
レバレッジエクスポージャーベース	9.23%	6.75%
レバレッジ比率	4.83%	3%
LCR（22年度2Q平均）	130.2%	100%

(億円)	22/3末	22/9末
総自己資本	119,838	121,935
Tier1資本	111,862	114,154
うちCET1資本	104,584	106,818
Tier2資本	7,975	7,781
外部TLACの額	206,281	218,197
リスクアセット	723,501	779,714
レバレッジエクスポージャー	2,160,804	2,362,374

*1 カウンターシクリカルバッファ（CCyB）勘案せず

事業部門別実績①

■ リテール

(億円)	22年度 上期	前年同期比 ^{*1}
業務粗利益	5,538	▲ 183
預貸金収益 ^{*2}	565	▲ 23
資産運用ビジネス	1,107	▲ 415
決済ビジネス	2,162	+212
コンシューマーファイナンス	1,560	+38
経費	▲ 4,562	△ 52
ベース経費	▲ 3,537	△ 126
業務純益	997	▲ 118
ROCET1 ^{*3}	6.2%	▲3.3%
リスクアセット (兆円)	12.7	+0.1

■ ホールセール

(億円)	22年度 上期	前年同期比 ^{*1}
業務粗利益	3,674	+186
預貸金収益	1,266	+132
外為・為替手数料	694	+77
SMBC シンジケーション	211	+22
ストラクチャードファイナンス	36	▲ 32
不動産ファイナンス	66	▲ 9
証券	158	▲ 132
経費	▲ 1,455	△ 45
ベース経費	▲ 1,441	△ 16
業務純益	2,592	+303
ROCET1 ^{*4}	13.9%	+3.2%
リスクアセット (兆円)	30.6	+0.8

*1 金利・為替影響等調整後ベース *2 除くコンシューマーファイナンス
*3 除く利息返還損失引当金繰入等 *4 除く外貨中長期調達コスト

事業部門別実績②

■ グローバル

	(億円)	22年度 上期	前年同期比*1
業務粗利益		6,011	+775
預貸金収益		2,532	+422
ローン関連手数料		1,080	+146
証券		199	▲ 188
経費		▲ 3,147	▲ 331
ベース経費		▲ 2,972	▲ 273
業務純益		3,324	+715
ROCET1*2		10.7%	+1.5%
リスクアセット (兆円)		50.8	+4.7

■ 市場

	(億円)	22年度 上期	前年同期比*1
業務粗利益		2,660	+86
SMBC市場営業部門		1,872	▲ 46
経費		▲ 567	▲ 44
ベース経費		▲ 545	▲ 37
業務純益		2,247	+65
ROCET1*3		20.2%	▲0.2%
リスクアセット (兆円)		4.9	▲ 1.9

*1 金利・為替影響等調整後ベース *2 除く外貨中長期調達コスト

*3 含むバンキング勘定の金利リスク見合い

事業部門別の中期経営計画進捗

	ROCE1 *1,2			業務純益（億円） *2			リスクアセット（兆円） *2		
	22年度上期	前年同期比	22年度計画*3	22年度上期	前年同期比	22年度計画	22年度上期	20/3末比	20-22年度計画
リテール	6.2%	▲3.3%	12%	997	▲118	3,050	12.7	+0.2	+0.4
ホールセール	13.9%	+3.2%	9%	2,592	+303	4,400	30.6	+1.9	+1.6
グローバル	10.7%	+1.5%	9%	3,324	+715	4,650	50.8	+5.8	+2.6
市場	20.2%	▲0.2%	17%	2,247	+65	3,550	4.9	▲1.0	+1.5

*1 利息返還損失引当金繰入等（リテール）、外貨中長期調達コスト（ホールセール・グローバル）を含まず
 バンキング勘定の金利リスク見合い（市場）を含む

*2 22年度基準での内部管理ベース、前年比は金利・為替影響等調整後

*3 20年度基準での内部管理ベース



Ⅱ. 中期経営計画の進捗

中期経営計画の進捗

基本方針

Transformation

既存ビジネスのモデル改革

Growth

新たなビジネス領域への挑戦

Quality

あらゆる面での質の向上

事業戦略

経営基盤

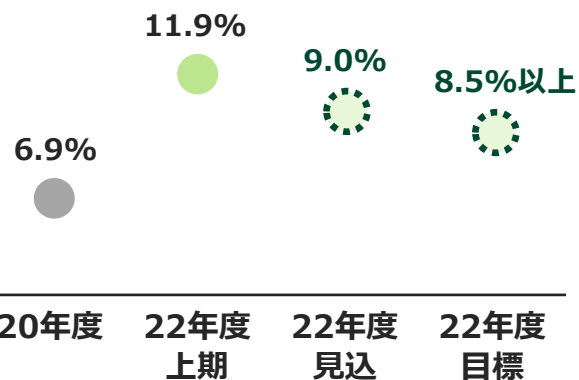
加速する
トレンド

Digital

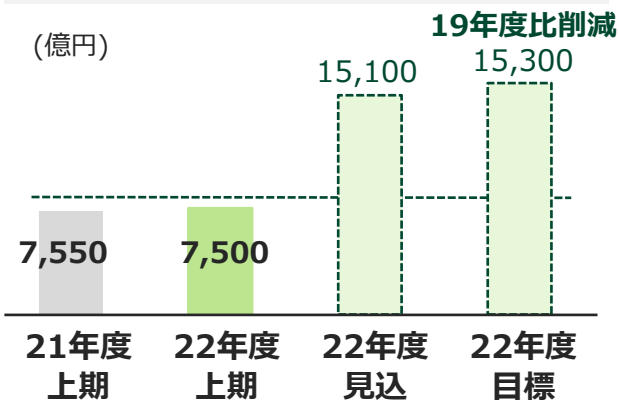
Green

財務目標

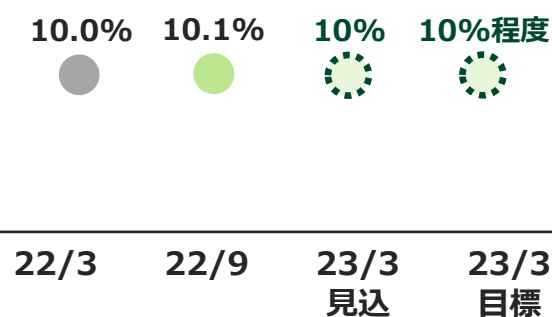
ROCET1



ベース経費*1



CET1比率*2



*1 営業経費から「収益連動経費」「先行投資にかかる経費」等を除いたもの。為替は105円/USDで固定

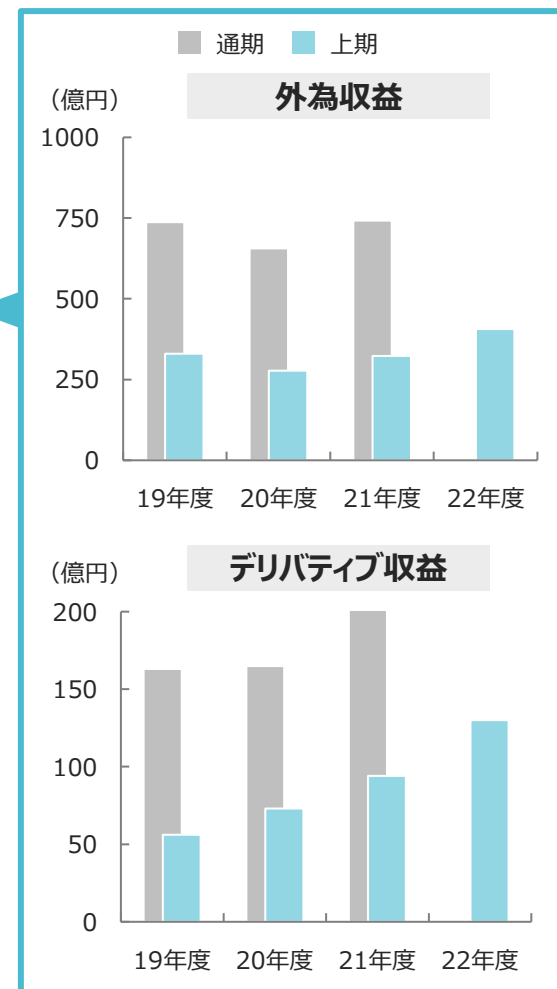
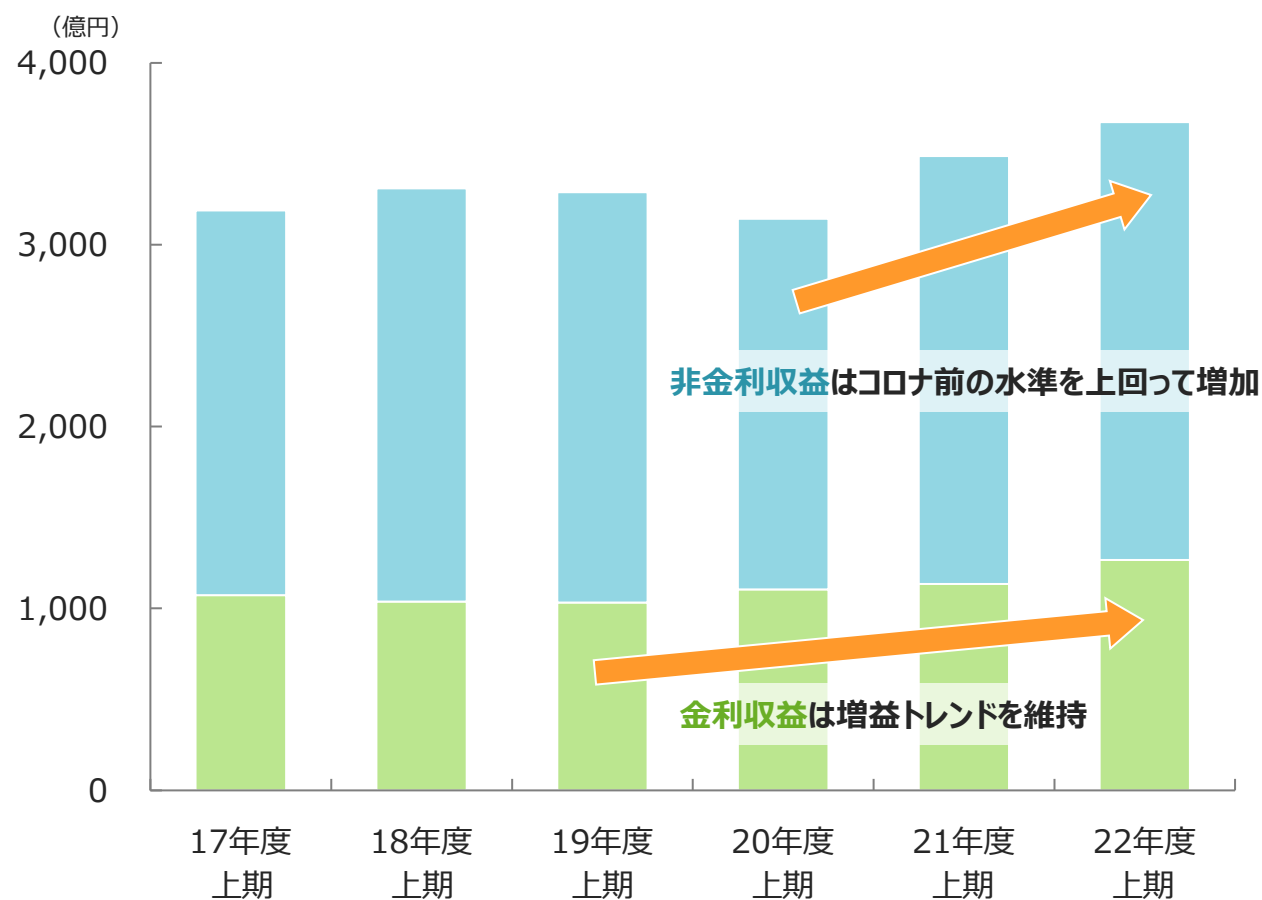
*2 パーゼルⅢ最終化・その他有価証券評価差額金を除く

Transformation & Growth (1) 国内法人ビジネス

企業活動の活発化を背景に、国内法人ビジネスは堅調に推移

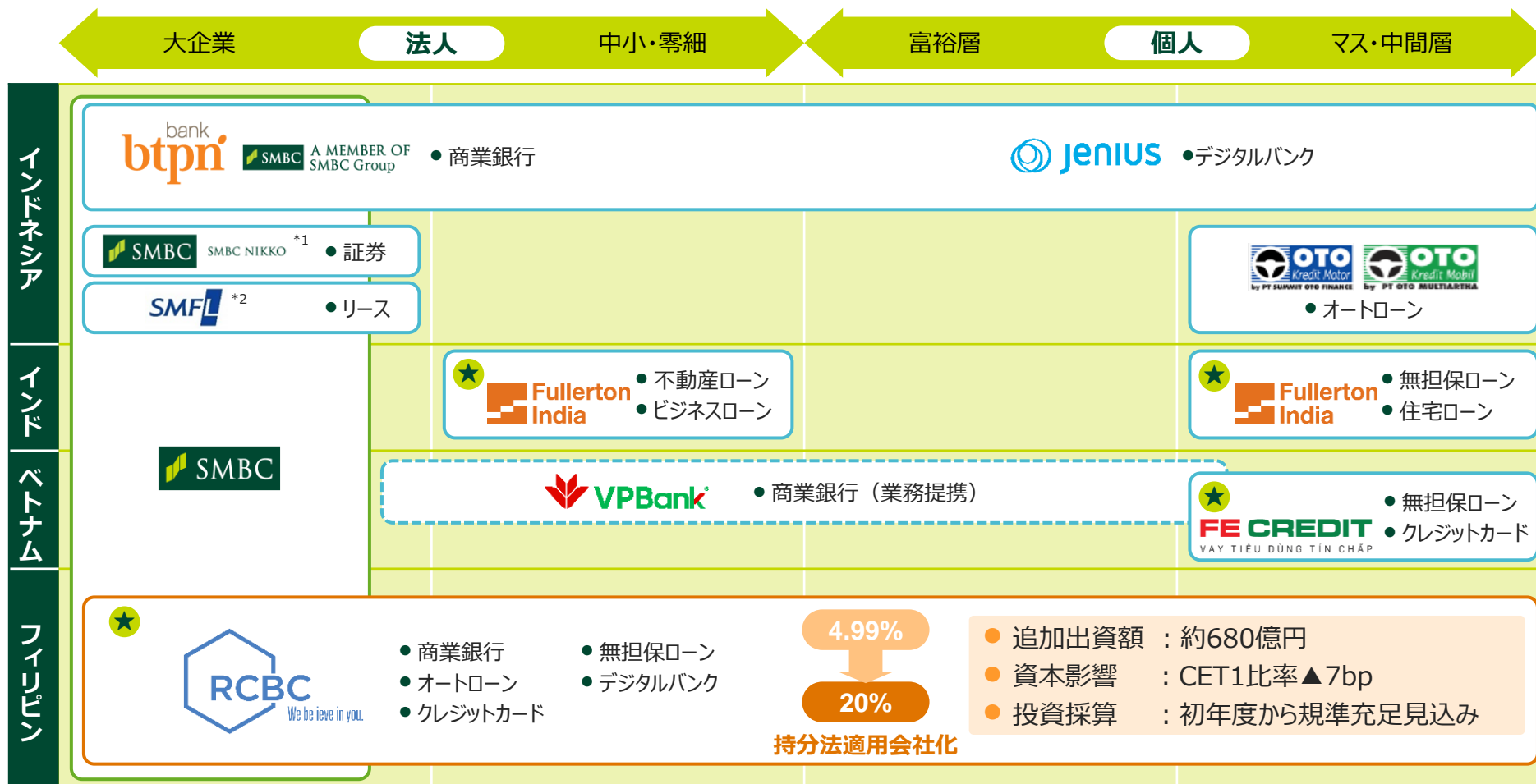
特に、ボラタイルなマーケット環境の下、外為・デリバティブを含めた非金利収益が好調

WS事業部門 連結粗利益



Transformation & Growth (2) マルチフランチャイズ戦略

フィリピンRCBCの持分法適用会社化により、マルチフランチャイズ戦略をさらに加速



★ : 現中期経営計画で実施した成長投資案件

*1 PT Nikko Sekuritas Indonesia *2 PT SMFL Leasing Indonesia

(参考) 各出資先の状況

Fullerton India 出資比率 74.9%

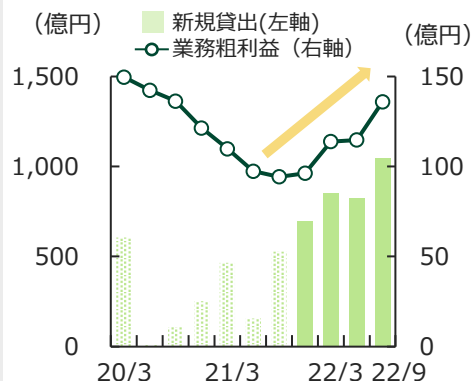
戦略 高い成長を期待できるリテール・SME分野への参入

コロナ影響から力強い回復

- 新規貸出の回復
- 与信コスト抑制

着実なシナジーの実現

- 販売金融推進による貸出成長機会の創出
- 資金調達支援
- Fintechとの協働



FE Credit 49%

戦略 業界最大手との協業によるリテール市場へのアクセス

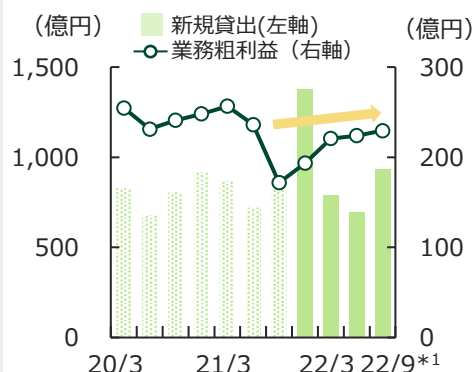
コロナ影響の回復に遅れ

- 与信コスト高止まり

着実なシナジーの実現

- 日系企業の紹介 (新商品の販売開始)
- 資金調達支援
- Fintechとの協働

VPBankとの協働も順調



RCBC 23年度1Q完了予定 20%

戦略 フルラインの銀行との協業による事業領域の拡大

- 追加出資および持分法適用会社化を決定
- グループベースで協働を進化させ、RCBCの成長を加速

Jefferies 4.3%

戦略 米国を中心とした証券・投資銀行の強化

- 協働領域の拡大
Sub-IG、クロスボーダーM&A、米国ヘルスケアに加え、EMEAや新規セクター・プロダクトでの協働等も進行中
- さらなるアライアンス強化も検討

Goshawk 年内完了予定 66%

戦略 航空機リース市場でトップクラスのポジションを確立

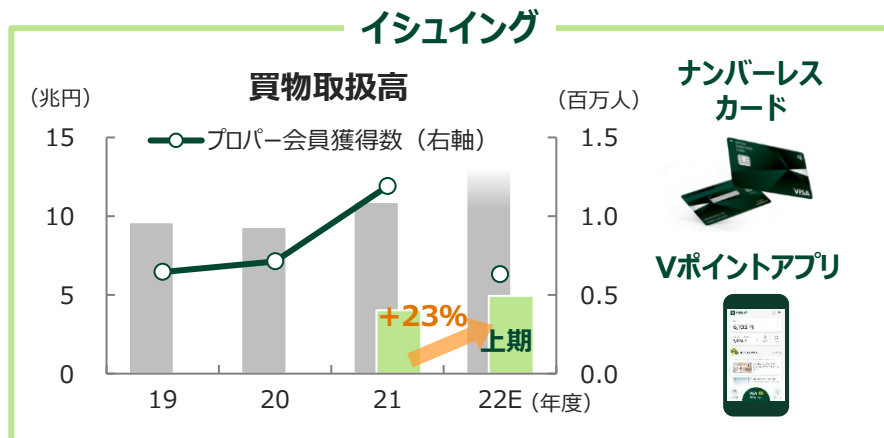
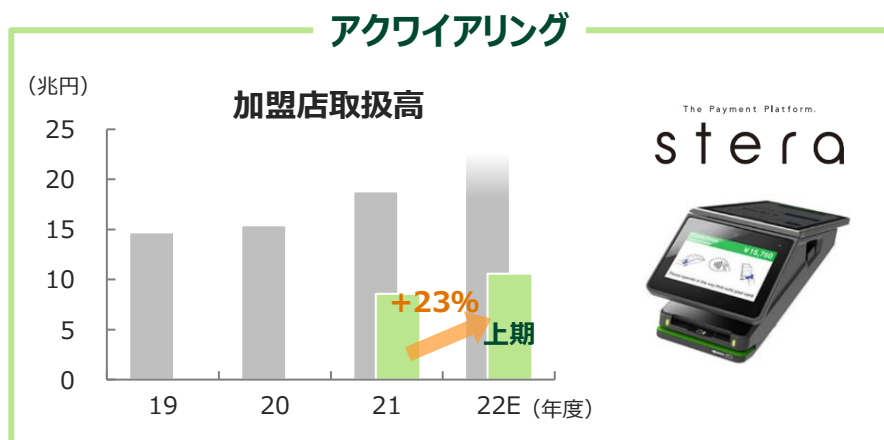
- 2年程度でSMBCACへの経営統合を展望
- 資産回転型ビジネス (JOL・航空機ファンド) の高度化
- 5年程度でSMBCACの当期純利益700百万米ドルを目指す

*1 速報値

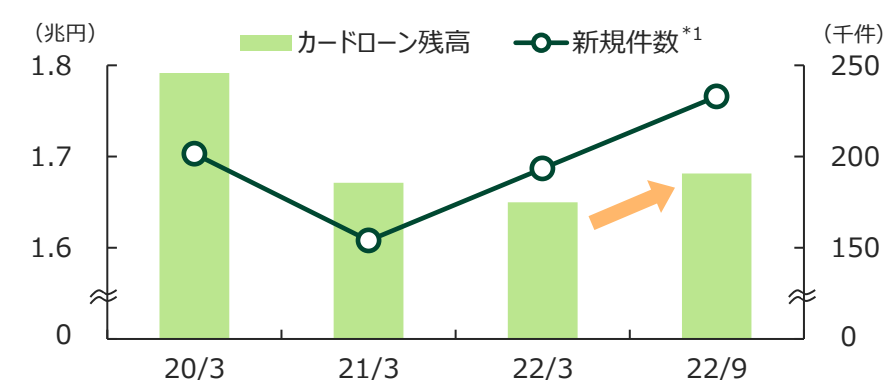
Transformation & Growth (3) ペイメントビジネス

国内消費の回復を背景に、クレジットカードはアクワイアリング・イシューングともに成長が加速
 コンシューマーファイナンスも残高が反転、新規取扱件数はコロナ前を上回るペースで増加

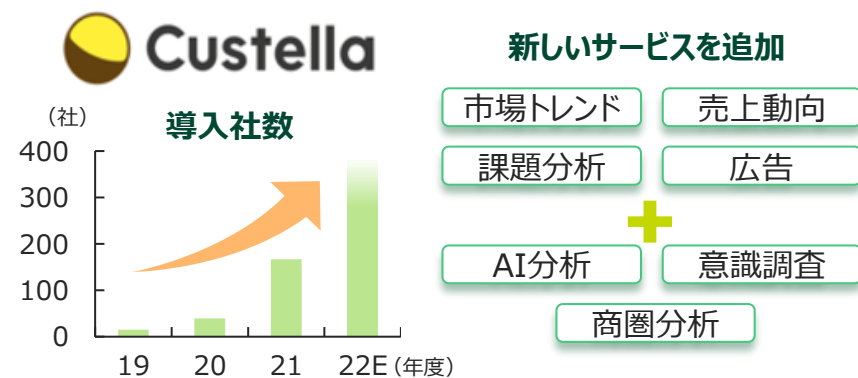
クレジットカードの成長が加速



コンシューマーファイナンスは回復基調



データ分析によるマーケティング支援

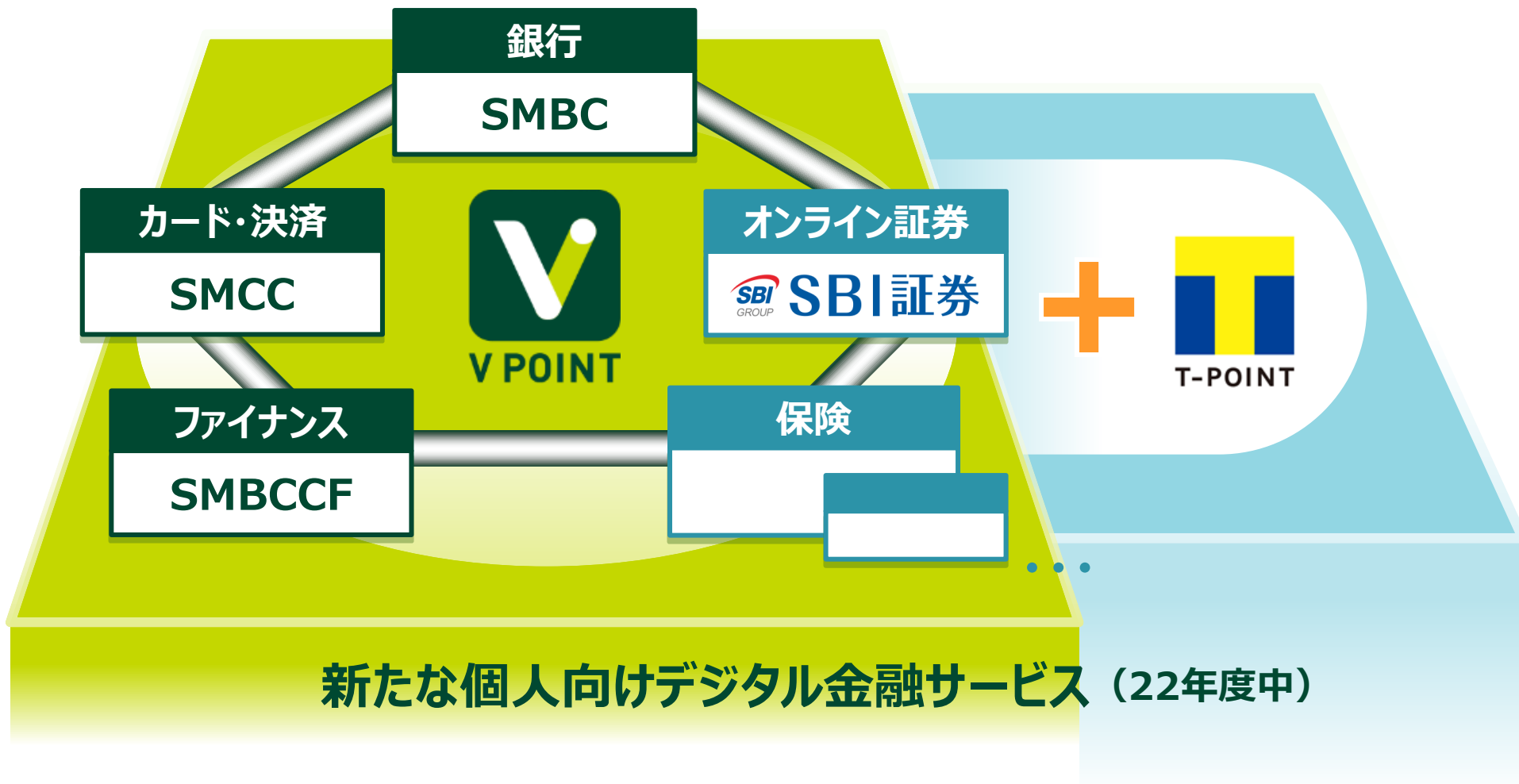


*1 19-21年度は半期平均

Digital (1) デジタル化を通じたリテール顧客基盤の拡大

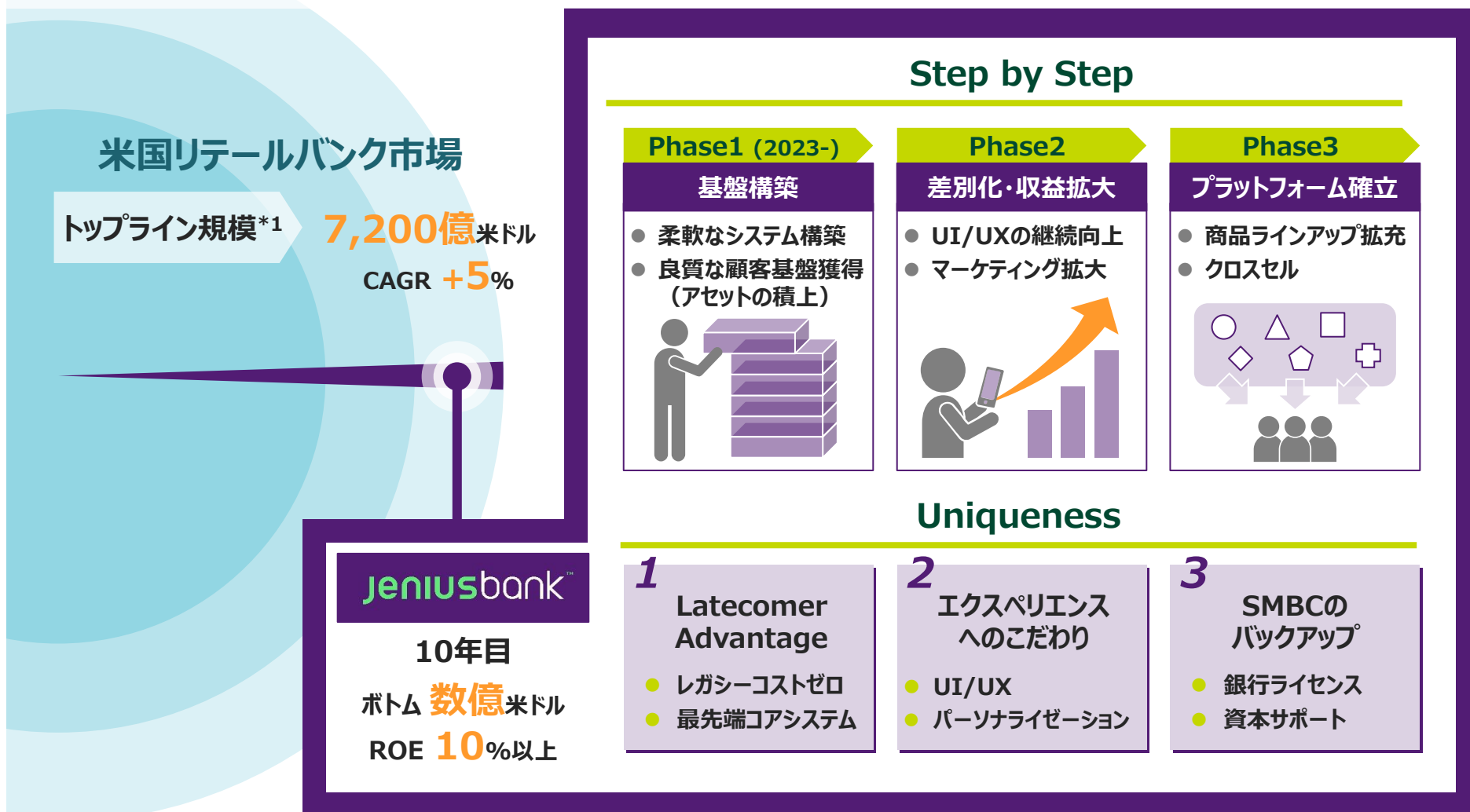
さまざまなリテール金融サービスをシームレスに提供

外部パートナーとのアライアンスも積極的に活用し、圧倒的なリテールプラットフォームの構築を目指す



Digital (2) 米国デジタルリテールバンキング事業への挑戦

米国の巨大なリテールバンク市場でUniquenessを活かしつつ、収益性を確認しながら順次ビジネスを拡大



*1 当社推計

Green (1) 脱炭素ソリューション

さまざまな脱炭素ソリューションで、お客さまの取組をサポート

Marathon Capitalとのビジネス創出



ESG関連分野での協業

再生可能・クリーンエネルギーファイナンス



エネルギーtransition戦略策定支援

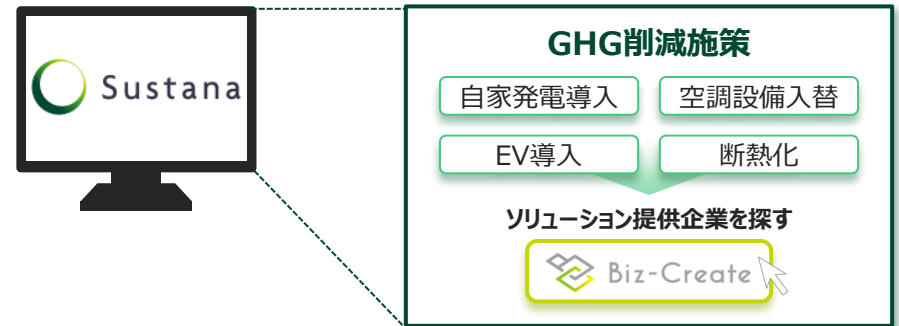


エネルギー分野のアドバイザー

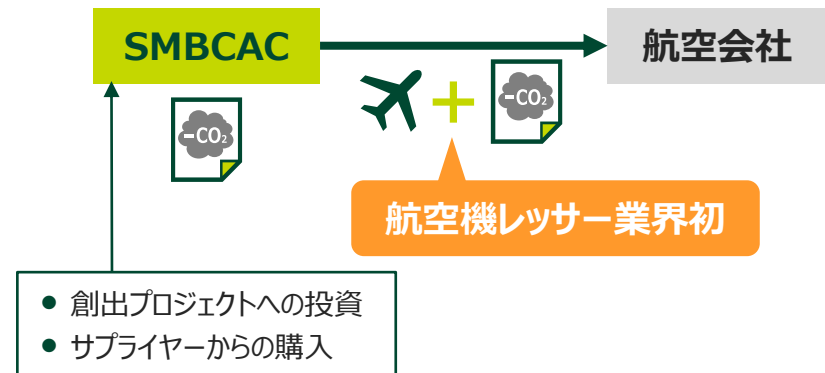


Sustanaによる脱炭素施策提案

22/9 GHG削減施策の Recommend 機能追加



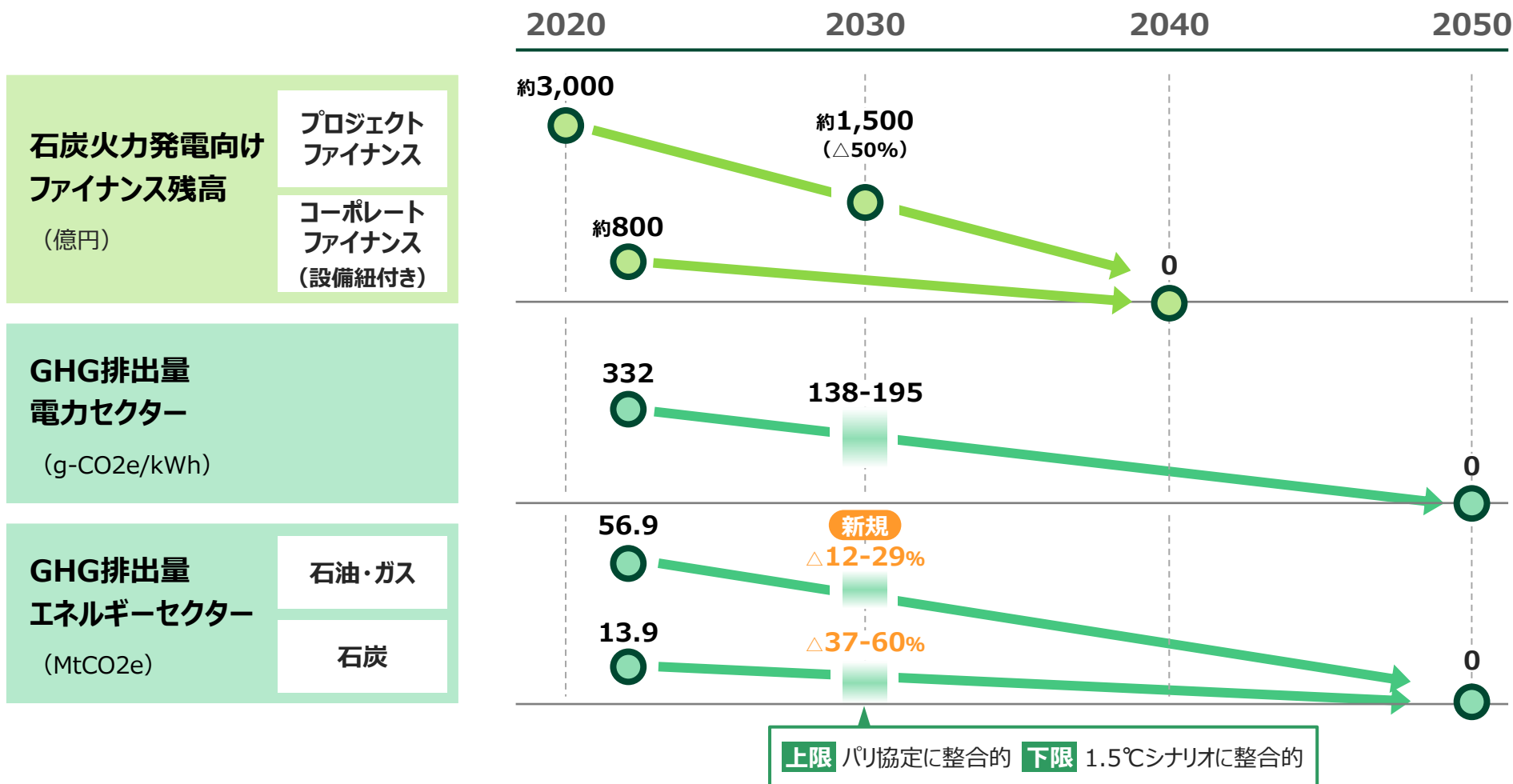
カーボンクレジットを活用したソリューション



*1 出所：Bloomberg (北米、2019-2021 件数) *2 出所：IJ Global (グローバル、2021 取組額)

Green (2) 2050年ネットゼロに向けた削減目標

エネルギーセクター（石油・ガス、石炭）におけるGHG排出量の中期削減目標を新たに設定



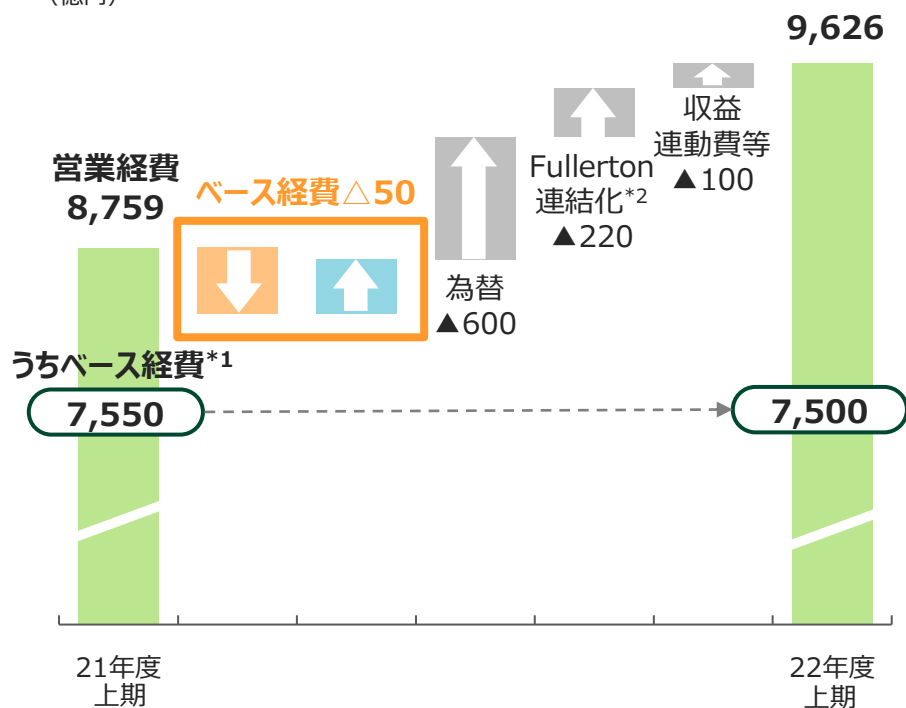
コストコントロール・IT投資

営業経費は為替影響等により増加するも、ベース経費はコントロール施策を通じて減少
IT投資はさらに50億円を増額し、ガバナンスを含めたレジリエンス強化をシステム面でも担保

コストコントロール

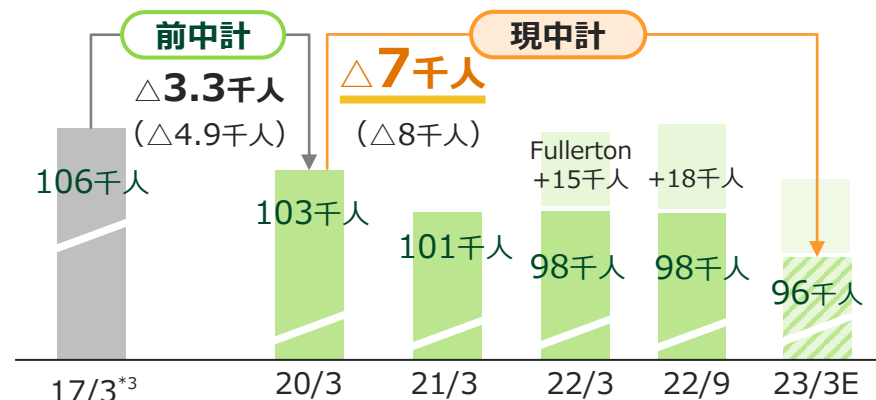
- コストコントロール主要施策
- 資源投入（海外ビジネス、戦略人員投入、システム経費等）

(億円)



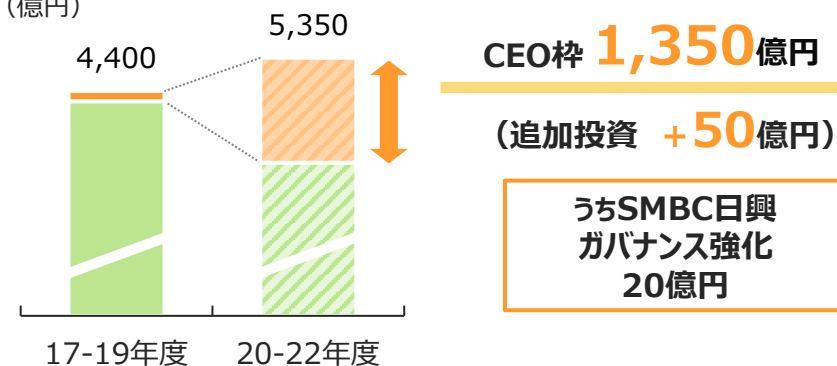
人員計画

() は国内人員



IT投資

(億円)



*1 営業経費から「収益連動経費」「先行投資にかかる経費」等を除いたもの。為替は105円/USDで固定
*2 のれん・無形資産償却を含む *3 再編影響を遡及処理

コストコントロール主要施策

中期経営計画目標の1,000億円削減は前倒しで達成
さらなる削減を進め、レジリエンス強化のため追加で資源投入

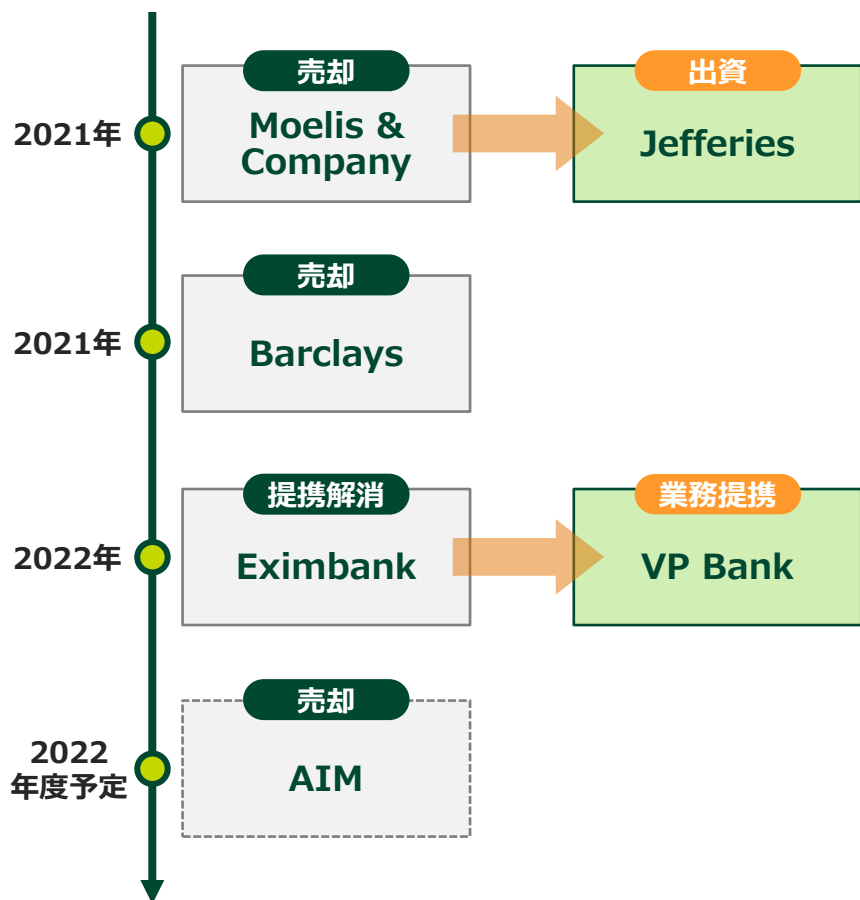
(上段：当初目標、下段：実績)

		取組状況	ベース経費	業務量	
国内の ビジネスモデル改革	デジタルシフトの加速	<ul style="list-style-type: none"> ● 決済ビジネスのデジタル化・合理化 ● 資産運用・国内法人ビジネスの戦力再配置 ● 本部業務の効率化 	△500億円 △760億円	△4,600人分 △5,050人分	
		<ul style="list-style-type: none"> ● 前倒しで転換完了した個人専用店舗の効果発現 ● 店舗統合、ATM共同運営 	△250億円 △260億円	△2,200人分 △2,700人分	
		<ul style="list-style-type: none"> ● 海外の人件費・物件費の見直し ● SMCC・FSの一体運営、移転による賃料削減 ● システムの共同利用・資産見直し 	△250億円 △410億円	△1,200人分 △1,900人分	
リテール店舗改革					
グループベースの 業務集約					
			当初目標	△1,000億円	△8,000人分
			3年間累計	△1,430億円	△9,650人分

アセットコントロール

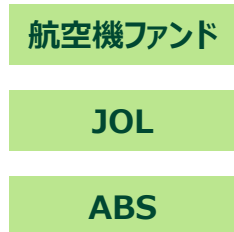
既存の事業ポートフォリオを見直し、資産・資本効率にこだわったポートフォリオ運営を高度化

資本・業務提携先の機動的な見直し

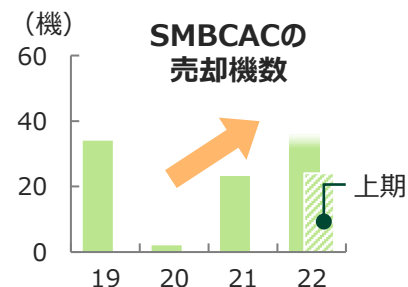


航空機リース

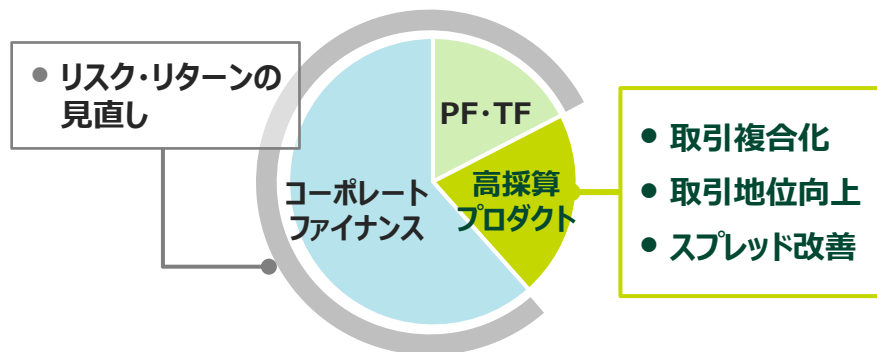
- Goshawk買収を通じて資産回転型ビジネスを高度化



- 機材売却を通じた筋肉質なポートフォリオの維持



海外貸出ポートフォリオ





III. 資本政策

資本政策の基本方針

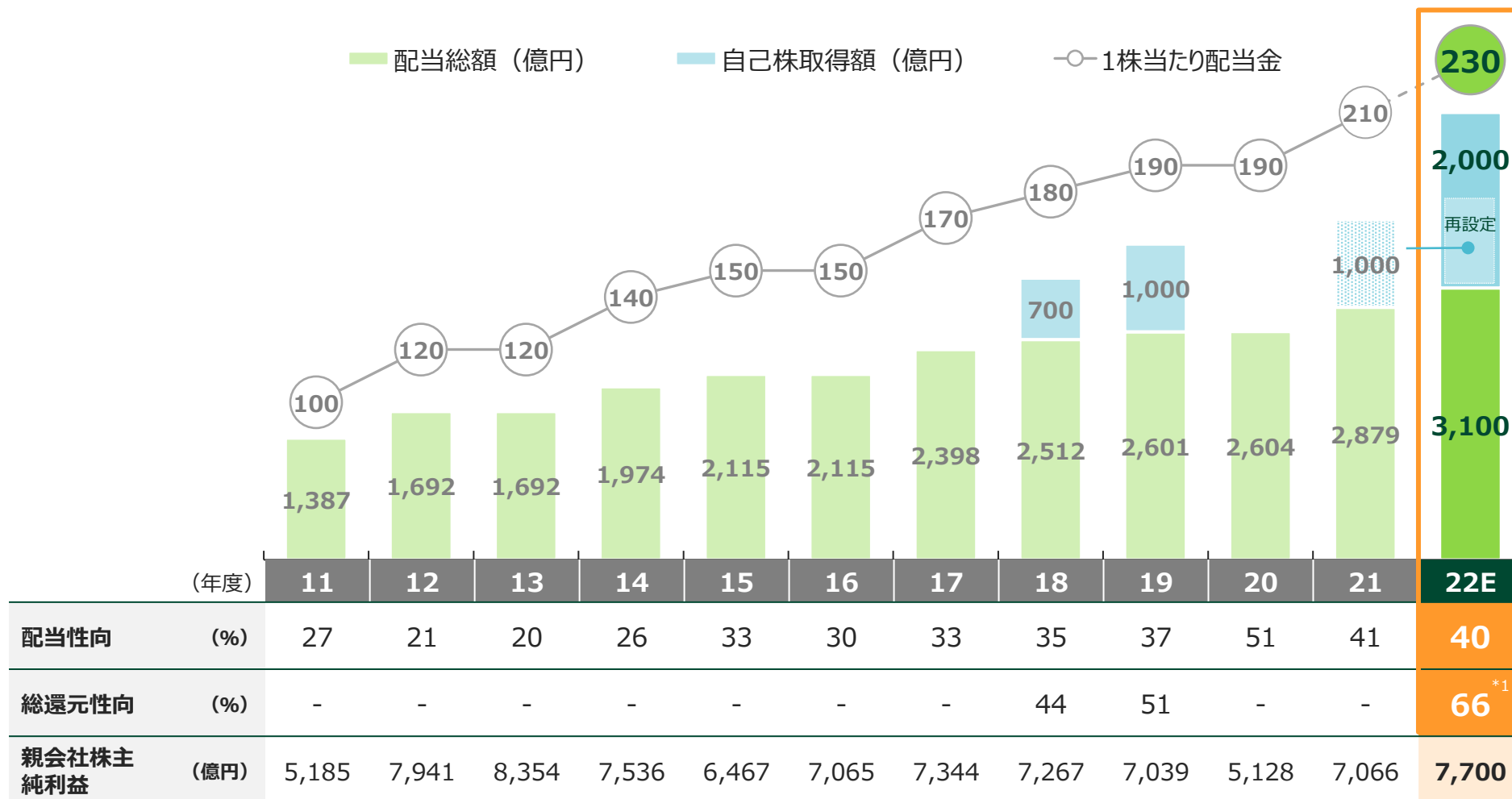
健全性確保、株主還元、成長投資をバランスよく実現



株主還元策

配当予想を230円に引き上げ（前年比+20円、期初予想比+10円）

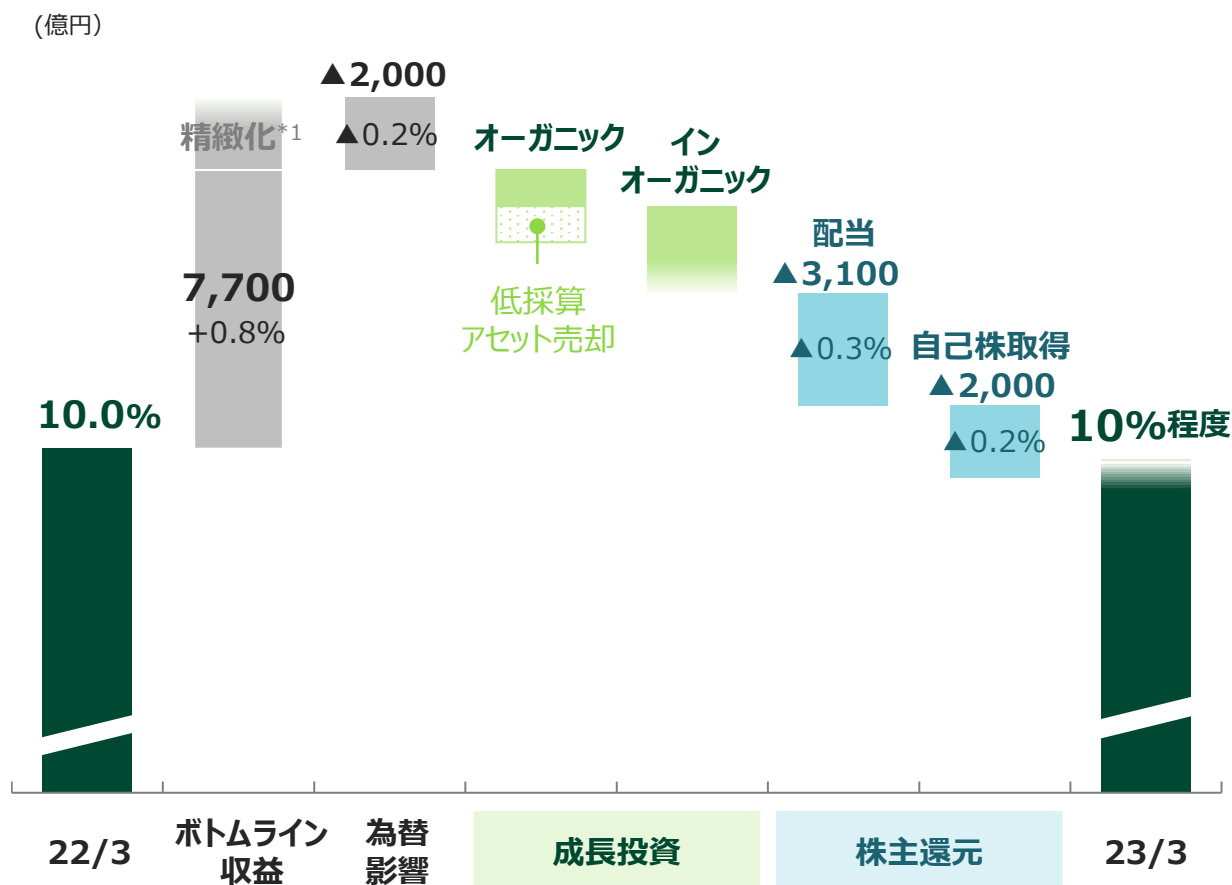
自己株取得は総額2,000億円を上限に設定（うち1,000億円は21/11発表分の再設定）、全株消却予定



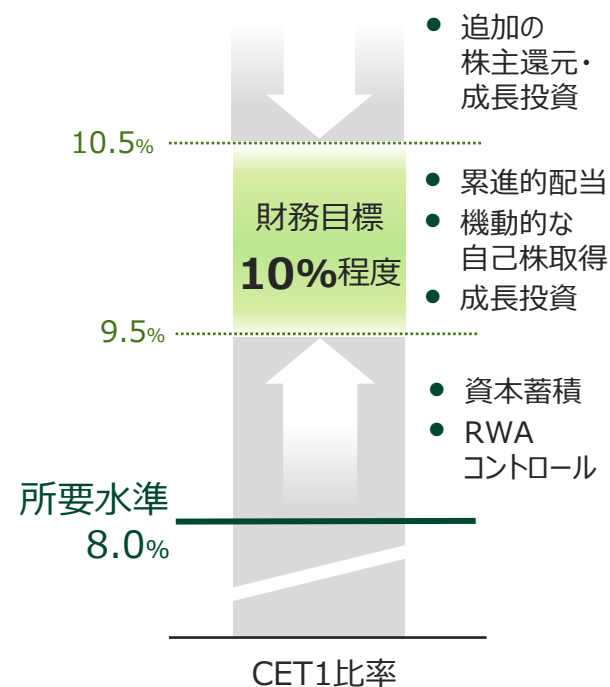
*1 21年度に自己株取得を1,000億円実施していた場合、総還元性向は、21年度55%・22年度53%

キャピタルアロケーション

成長投資・株主還元実施後もCET1比率は10%程度を維持する見通し

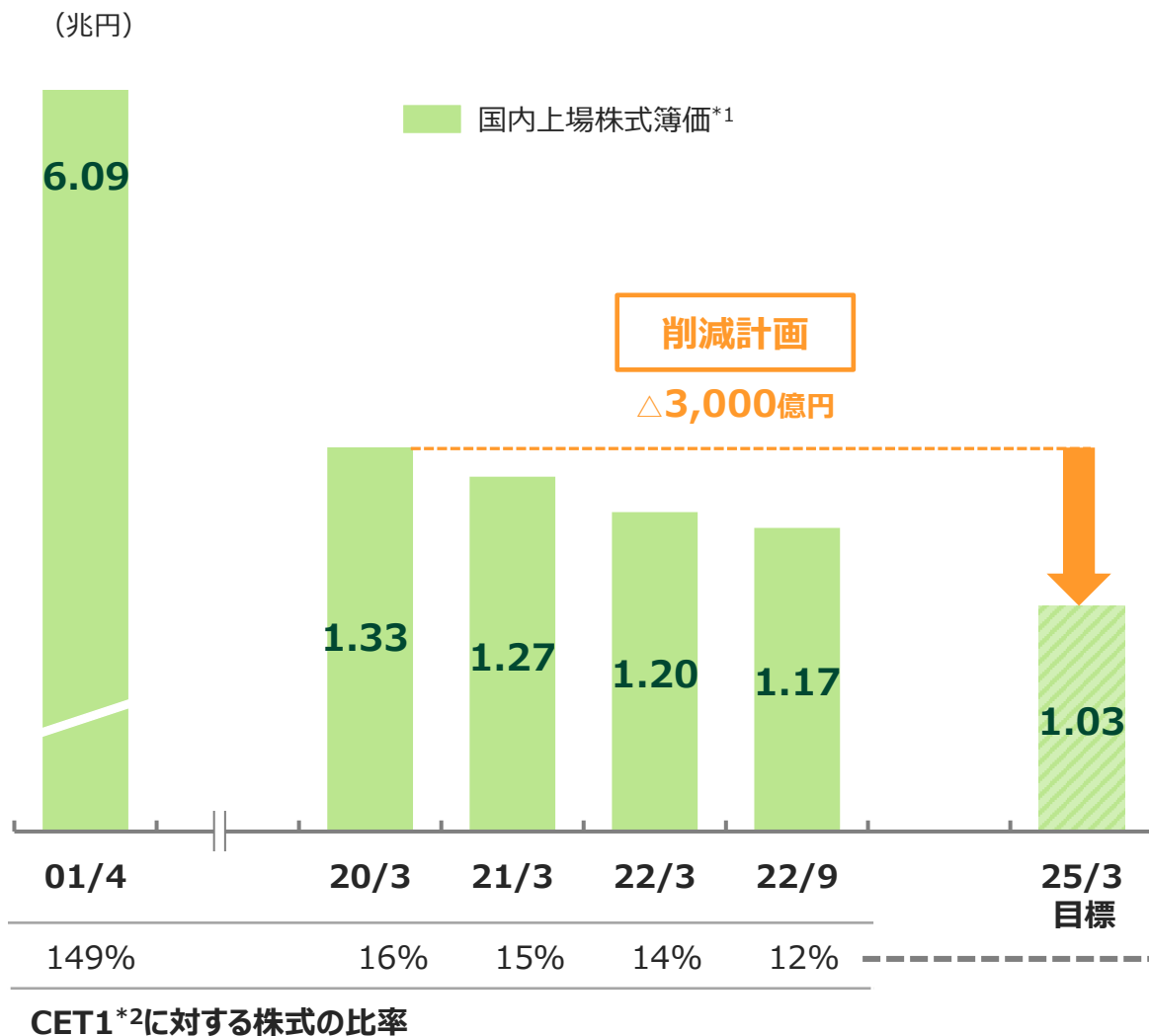


資本運営目線



*1 金融機関宛出資のダブルギアリング計算方法の見直し等

政策保有株式



削減状況

削減額	1,520億円
20年度	550億円
21年度	670億円
22年度2Q	300億円
未売却の売却応諾残高	660億円
削減・応諾済総計	2,190億円

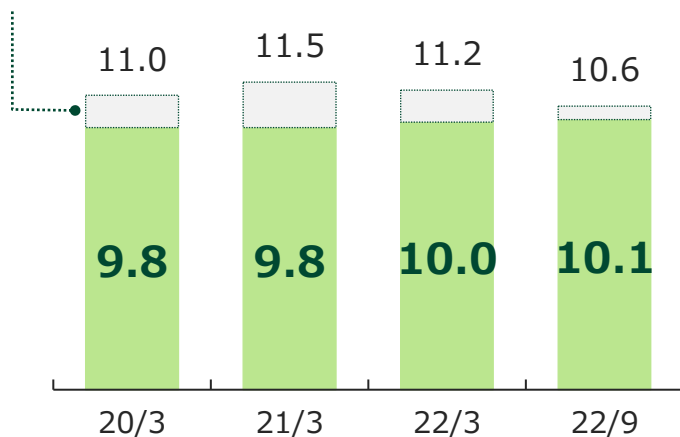
*1 20/3末以降の業務提携目的の出資を除く *2 パーゼルⅢ完全実施基準、その他有価証券評価差額金を除く

(参考) CET1比率

財務目標：バーゼルⅢ最終化・除くOCI

(%)

その他有価証券評価差額金

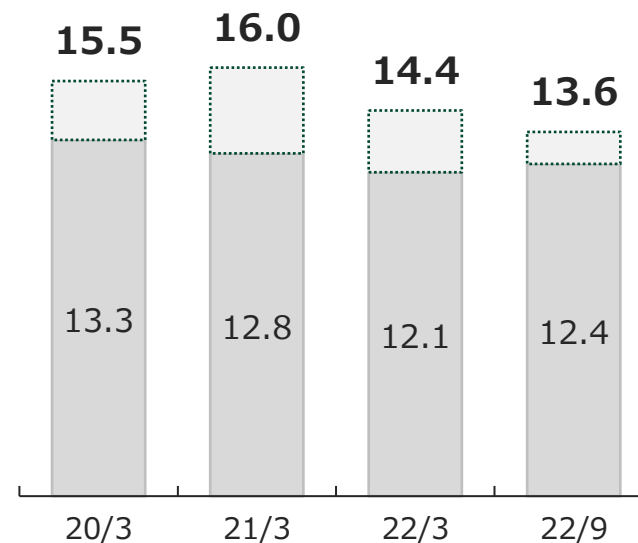


(兆円)

リスクアセット	83.5	86.4	88.2	96.1
CET1資本	8.2	8.5	8.8	9.7

現行規制基準

(%)



(兆円)

リスクアセット	61.6	66.0	72.4	78.0
CET1資本	9.6	10.6	10.5	10.7



IV. 将来に向けた取組

質の伴った成長を実現

資本効率向上を伴う
成長施策の実行

経営基盤の
格段の強化

社会的価値の追求

強いチームを作る

ひとりひとりが強い



社長製造業



ダイバーシティ&インクルージョン

全員がゴールを共有



CEOセミナー・タウンホールミーティング



1on1ミーティング

チームプレーに徹する



SMBCグループ表彰

ミドリば

社内SNSでの意見交換

Team SMBC



Appendix

グループ概要 ①組織図

三井住友フィナンシャルグループ

連結総資産 272 兆円

格付	Moody's	S&P	Fitch	R&I	JCR
	A1/P-1	A-/ -	A/F1	A+/ -	AA-/ -

消費者金融

三井住友カード

【74.9%】

Fullerton India

SMBC
消費者金融

【49%】

FE Credit

リース

【50%】

三井住友
ファイナンス&リース

【SMBC 32%、SMFL 68%】

SMBC
Aviation Capital

連結子会社

持分法適用関連会社

銀行

三井住友銀行

Moody's	S&P	Fitch
A1	A	A

SMBC信託銀行

【92%】

PT Bank BTPN Tbk

証券

SMBC日興証券

その他事業

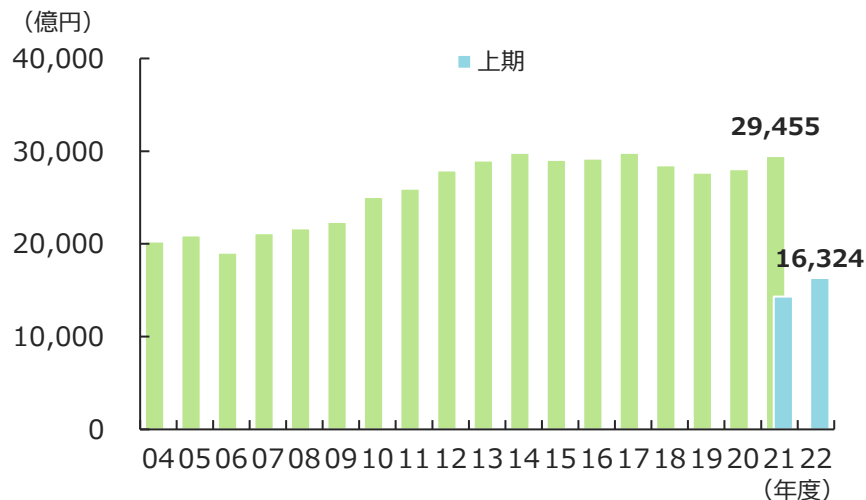
【50.1%】

日本総合研究所

三井住友DS
アセットマネジメント

グループ概要 ②業績推移

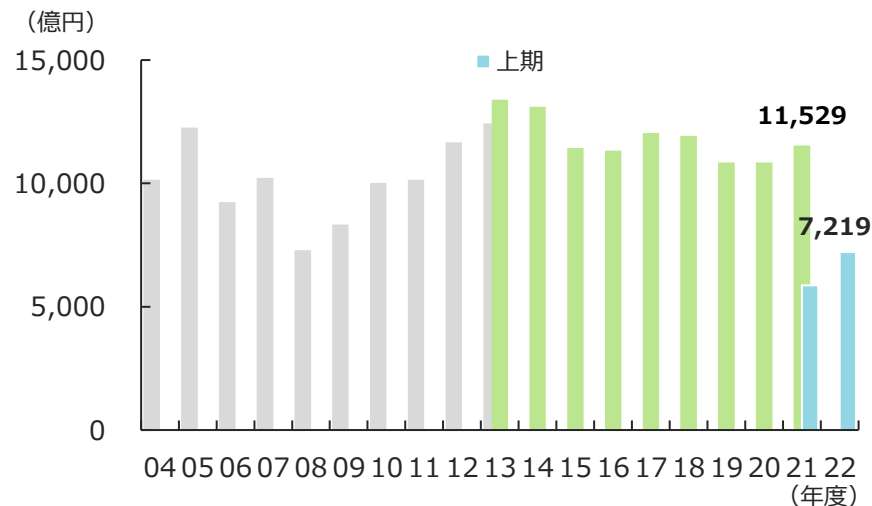
連結粗利益



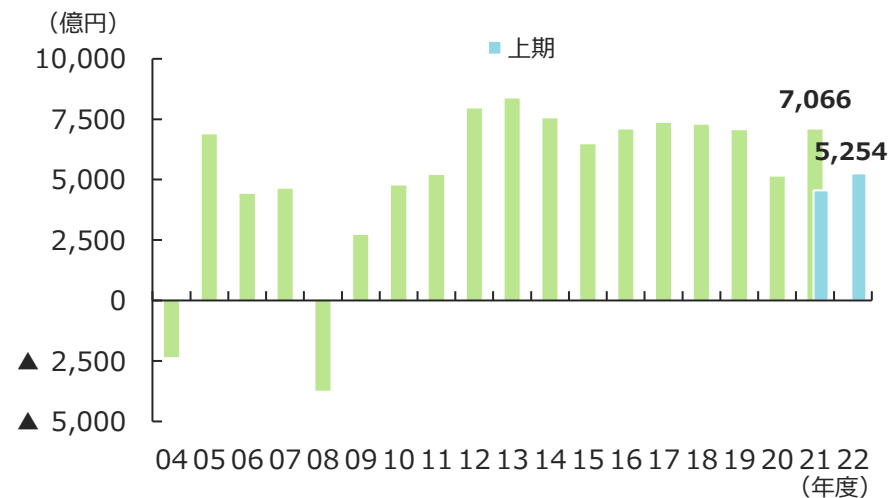
連結粗利益の内訳

	02年度		22年度 上期
国内貸出金・預金関連 (BC単体)	35%	↘	13%
海外ビジネス (銀行業)	5%	↗	32%
SMBC以外のグループ会社	18%	↗	31%

連結業務純益*1



親会社株主純利益



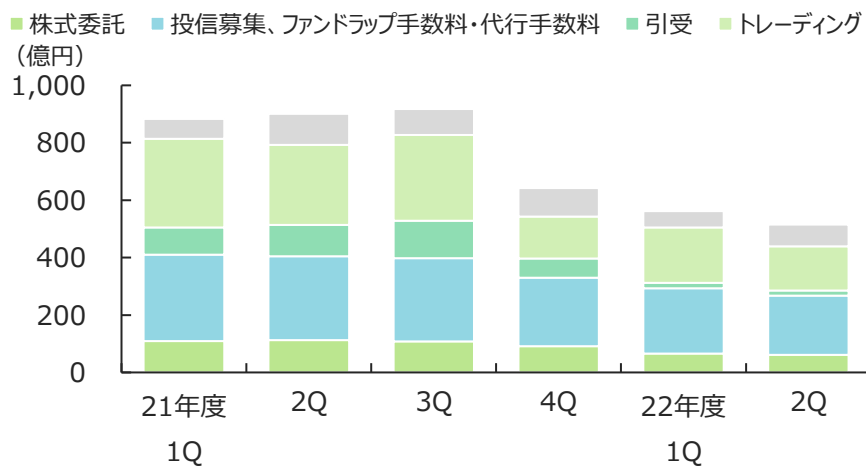
*1 14年度より連結業務純益の定義を変更、13年度について遡求処理を実施

主なグループ会社 ① SMBC日興

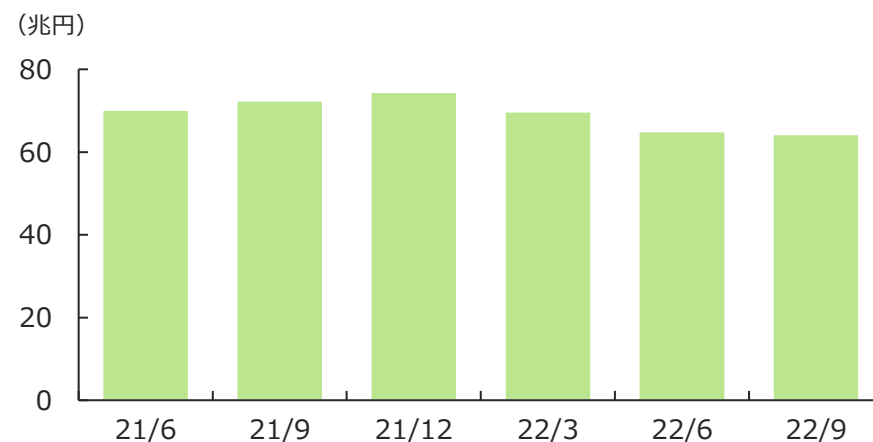
業績

(億円)	21年度	22年度 上期	前年 同期比
純営業収益	3,342	1,077	▲706
販売費・一般管理費	▲2,754	▲1,274	△108
経常利益	653	▲181	▲619
親会社株主純利益	497	▲94	▲420

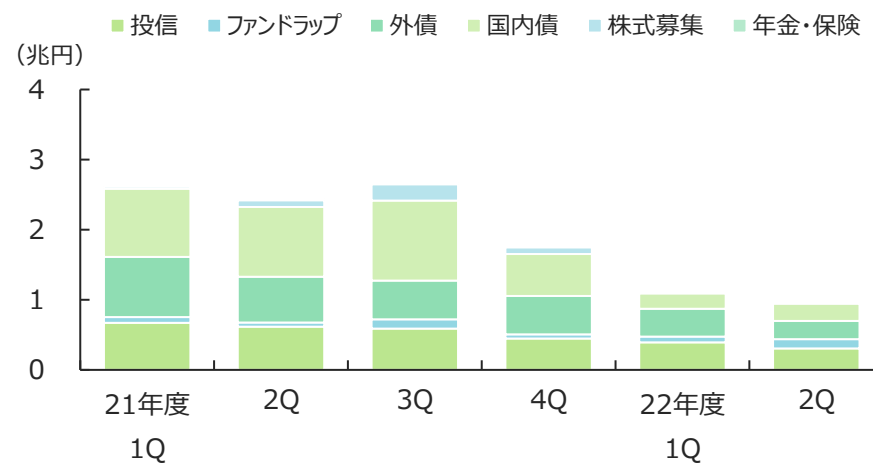
純営業収益



預り資産残高



商品販売額

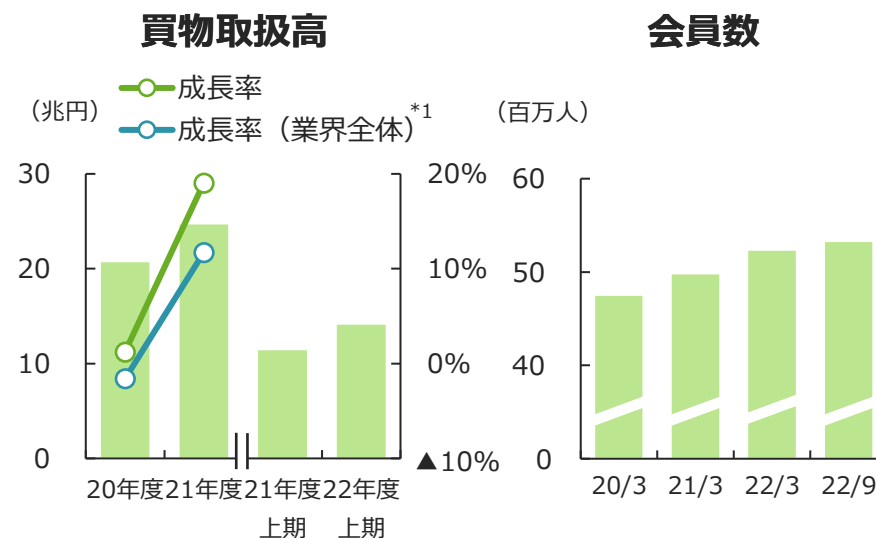


主なグループ会社 ②SMCC

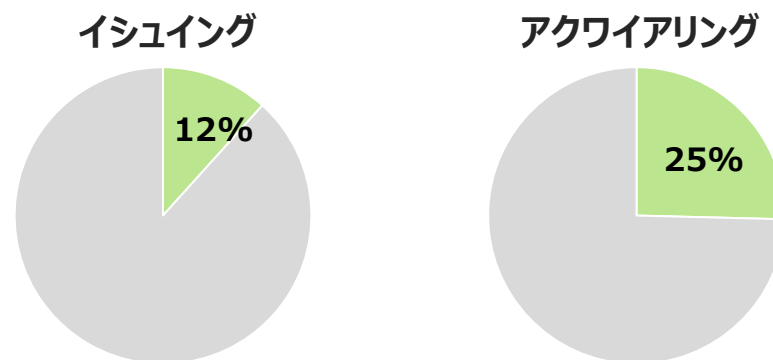
業績

(億円)	21年度	22年度 上期	前年 同期比
営業収益	4,705	2,509	+239
うち買物手数料	1,640	920	+149
ファイナンス	982	506	+16
信販	295	142	▲9
収納代行	501	256	+6
営業費用	▲4,395	▲2,291	▲223
うち貸倒費用	▲256	▲154	▲38
利息返還費用	▲100	-	-
経常利益	341	216	▲16
親会社株主純利益	198	148	+0
ファイナンス残高	6,779	7,031	

事業の状況



マーケットシェア*2



*1 日本クレジット協会「クレジットカード動態調査」ショッピング信用供与額

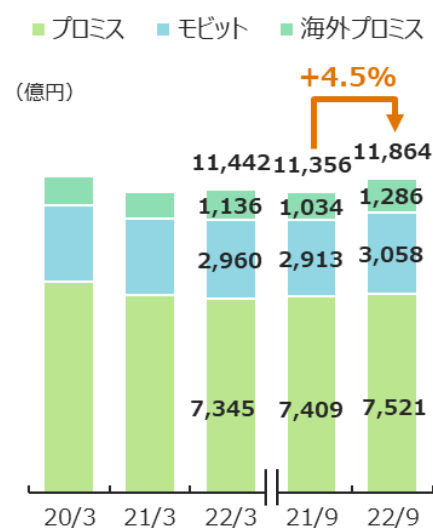
*2 経産省「特定サービス産業動態統計調査」販売信用業務取扱高（2021年暦年、約68兆円）に占める割合

主なグループ会社 ③SMBCCF

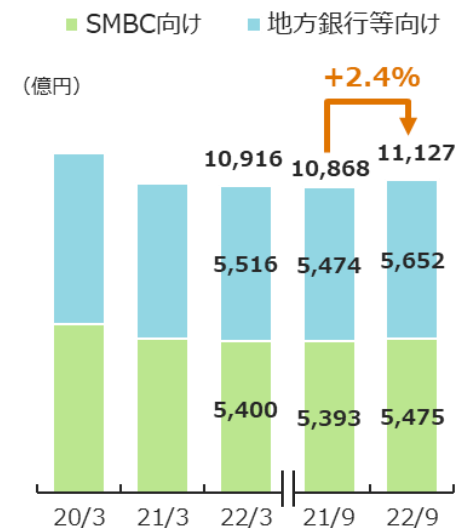
業績

(億円)	21年度	22年度 上期	前年 同期比 ^{*1}
営業収益	2,689	1,467	+118
うち営業貸付金利息	1,767	913	+26
信用保証収益	571	353	+67
営業費用	▲2,005	▲1,003	▲48
うち貸倒費用	▲487	▲355	▲25
債務保証費用	▲108	▲20	△8
利息返還費用	▲220	-	-
経常利益	686	421	+26
親会社株主純利益	852	319	▲2
不良債権残高 (同比率)	961 8.40%	1,038 8.75%	
利息返還損失引当金 (引当年数)	959 3.5年	840 3.1年	

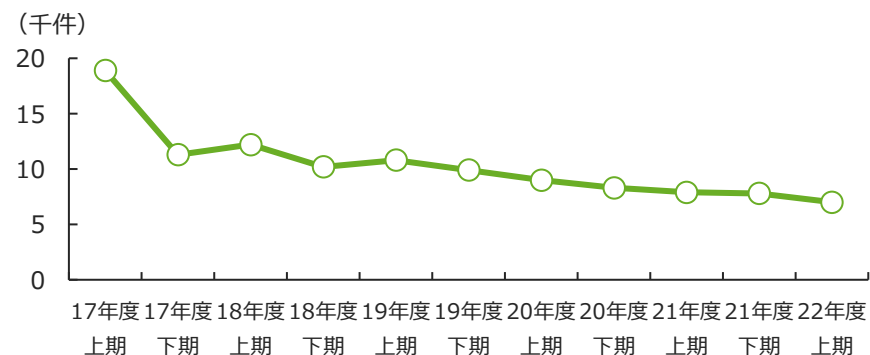
営業買付金残高



保証残高



利息返還請求件数



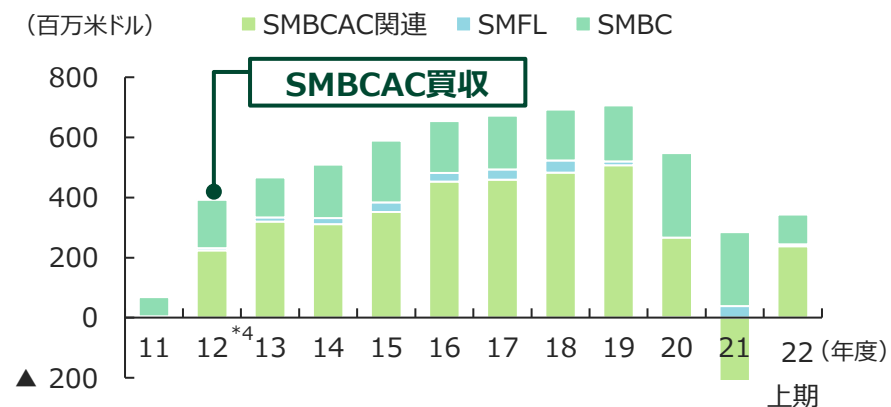
*1 再編影響は遡及せず

主なグループ会社 ④ SMBCAC

業績

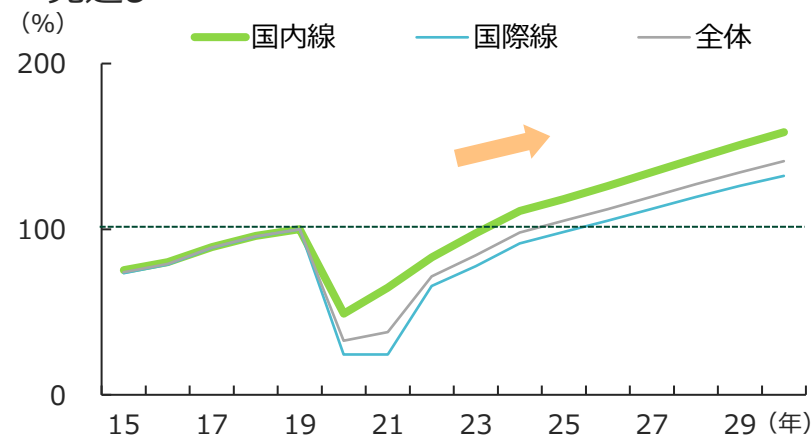
(百万米ドル)	21年度	22年度 上期	前年 同期比
総収入	1,479	627	+2
うちリース収入	1,366	599	▲4
減損・引当*1	▲907	▲39	△31
当期純利益	▲283	105	+21
航空機資産*2	16,210	17,217	+868
純資産	3,322	3,427	+61
ROE	▲8.5%	3.1%	+0.6%

SMBCグループの航空機ビジネス収入

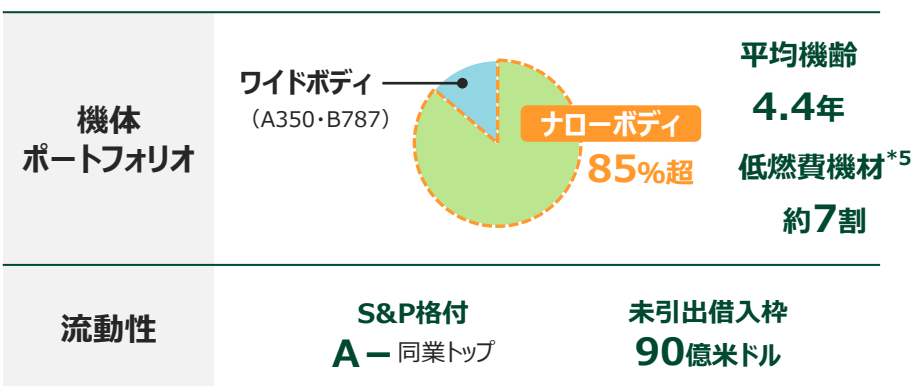


世界旅客需要予測*3

- 国内線需要は2023年頃COVID-19前水準を超える見通し



SMBCACの強み



*1 保証金等ネット前のグロス表記 *2 PDP (航空機製造前払金) を含む *3 IATA/Tourism Economics 19年実績を100とした時の各年の増減率 *4 SMBCAC関連収入は買収以降の6月から計上 *5 Neo/MAX/A350/B787

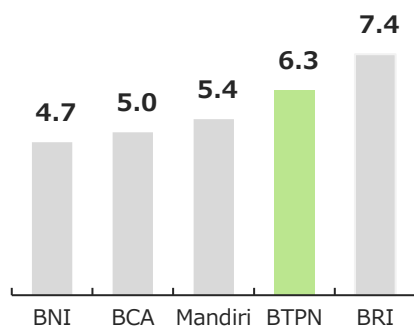
主なグループ会社 ⑤BTPN

業績*1

(億円)	2019年	2020年	2021年	2022年 1-9月
業務粗利益	996	911	1,062	967
経費	▲563	▲509	▲566	▲501
純利益	203	129	216	230
ROE	9.9%	6.1%	8.6%	9.6%
貸出金	11,199	10,080	10,984	14,766
顧客預金	6,868	7,458	8,860	9,869
総資産	14,349	13,554	15,545	18,993

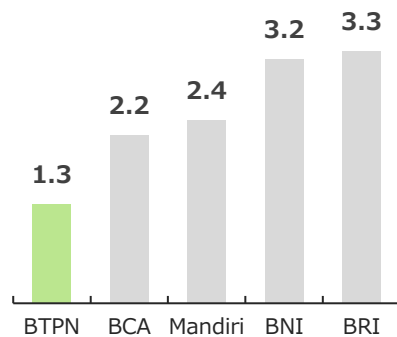
預貸金利鞘*2

(%)

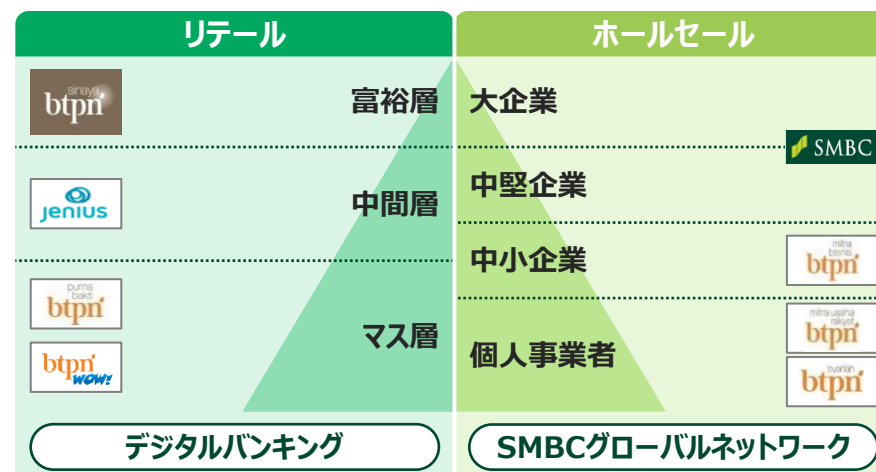


不良債権比率*2

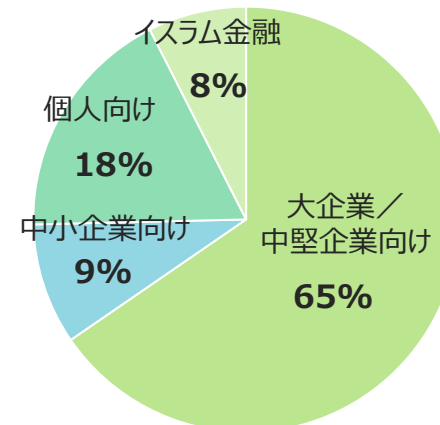
(%)



カバレッジ



貸出金構成*3



*1 各期末レートで換算

19/12月末：0.0079円/IDR、20/12末：0.0074円/IDR、21/12末：0.0081円/IDR、22/9末：0.0095円/IDR

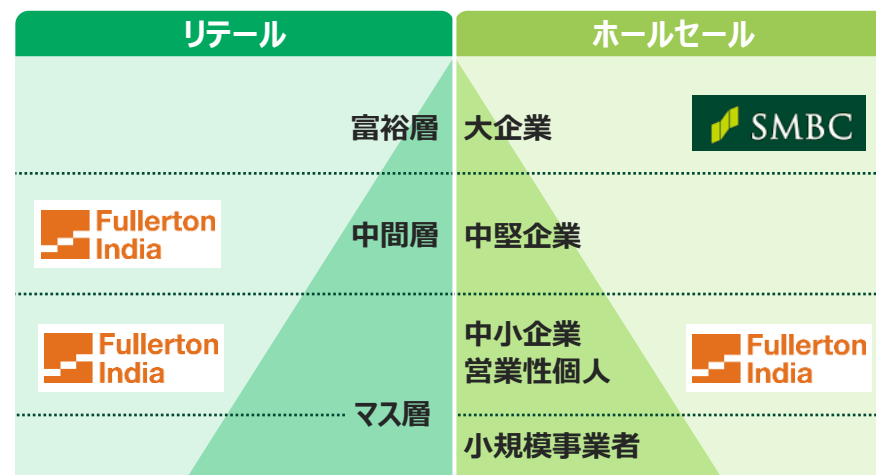
*2 各社公表データ（22/6実績）に基づく *3 22/6末時点

主なグループ会社 ⑥ Fullerton India

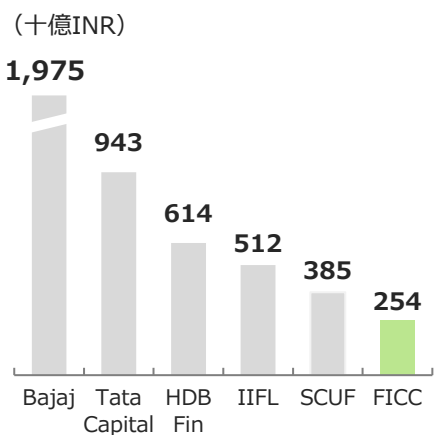
業績*1

(億円)	19年度	20年度	21年度	22年度 上期*2
業務粗利益	522	481	408	279
経費	▲191	▲180	▲235	▲158
純利益	110	▲183	12	54
ROE	18%	▲24%	2%	13%
貸出金	4,191	3,782	4,114	5,439
総資産	4,736	4,193	4,414	6,094

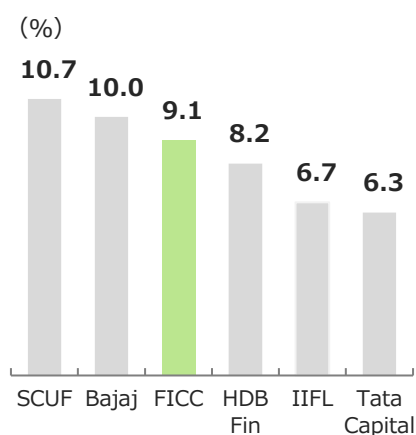
カバレッジ



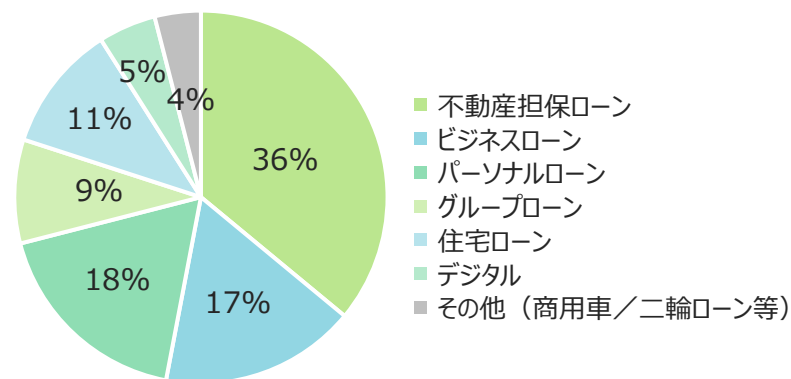
貸出金*3



貸出利鞘*3



貸出金構成*4



*1 各期末レートで換算
 20/3末: 1.44円/INR、21/3末: 1.51円/INR、22/3末: 1.62円/INR、22/9末: 1.78円/INR
 *2 未監査 *3 各社公表データ (22/3実績) に基づく *4 22/3末時点

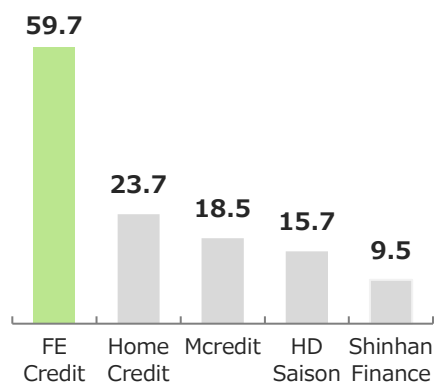
主なグループ会社 ⑦ FE Credit

業績*1

(億円)	2019年	2020年	2021年	2022年 1-6月
業務粗利益	853	784	766	469
経費	▲267	▲227	▲234	▲167
純利益	169	134	16	8
ROE	29.6%	21.2%	2.0%	1.8%
貸出金	2,848	2,972	3,771	4,426
総資産	3,320	3,303	3,890	4,718

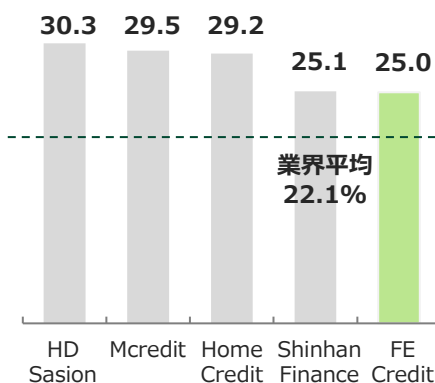
貸出金*2

(兆VND)



貸出利鞘*2

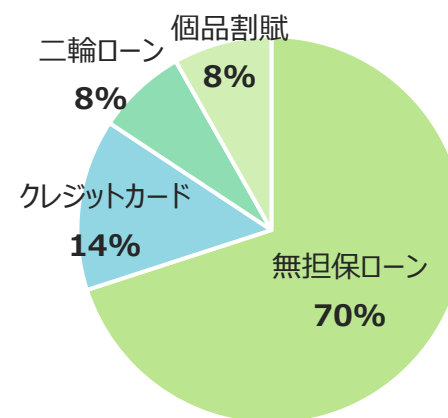
(%)



カバレッジ



貸出金構成*2



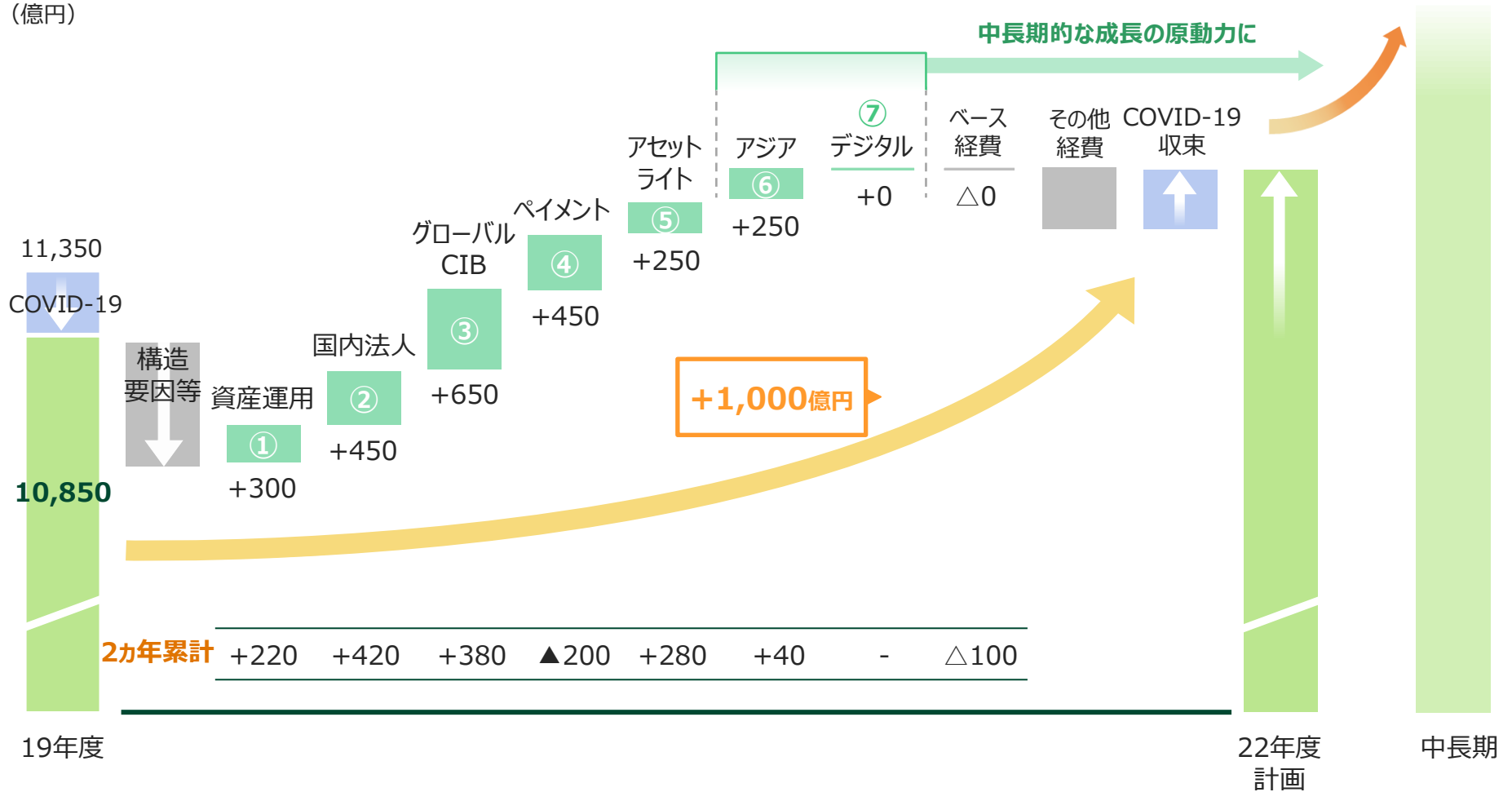
*1 各期末レートで換算

19/12末：0.0047VND/円、20/12末：0.0045VND/円、21/12末：0.0050VND/円、22/6末：0.0059VND/円

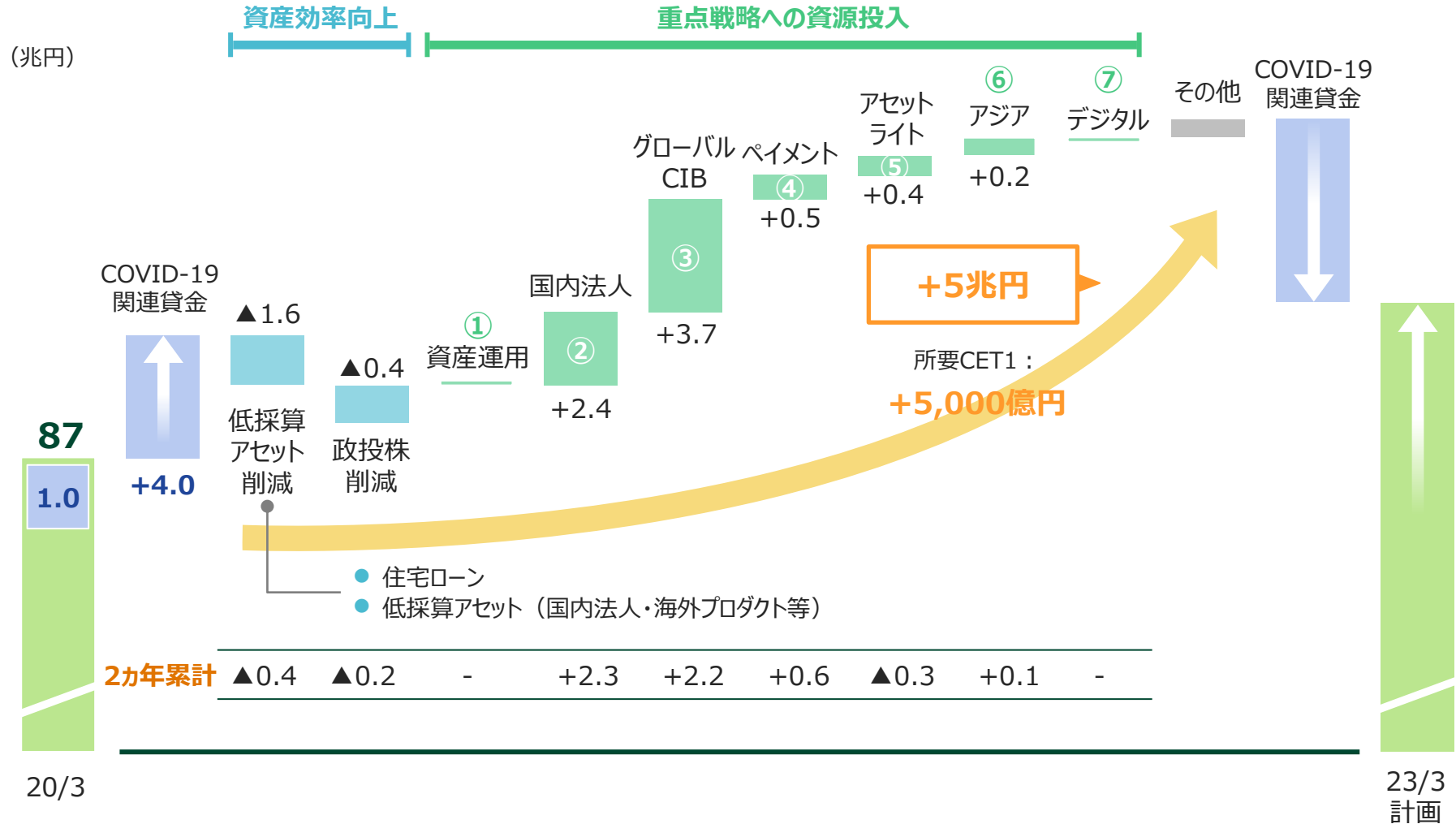
*2 FiinGroupデータに基づき作成 (22/6実績)

2022年へのロードマップ ① 連結業務純益

(億円)

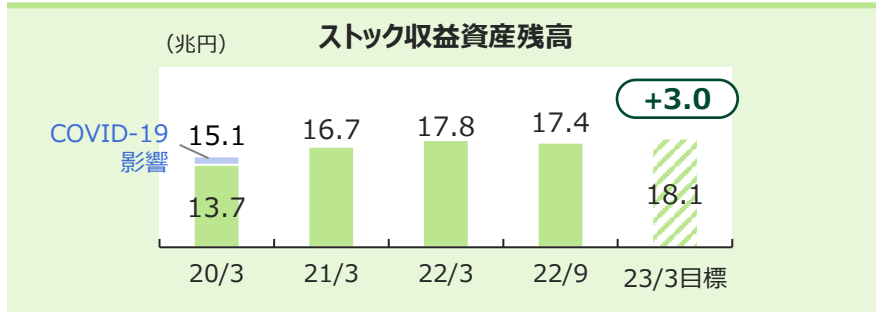


2022年へのロードマップ ②リスクアセット

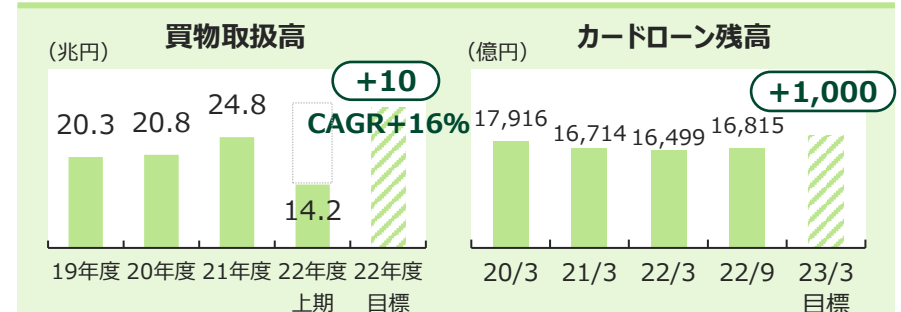


2022年へのロードマップ ③ KPIの進捗

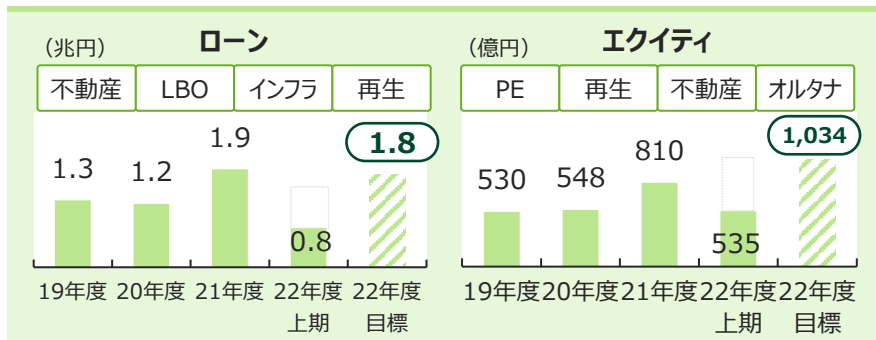
資産運用ビジネス



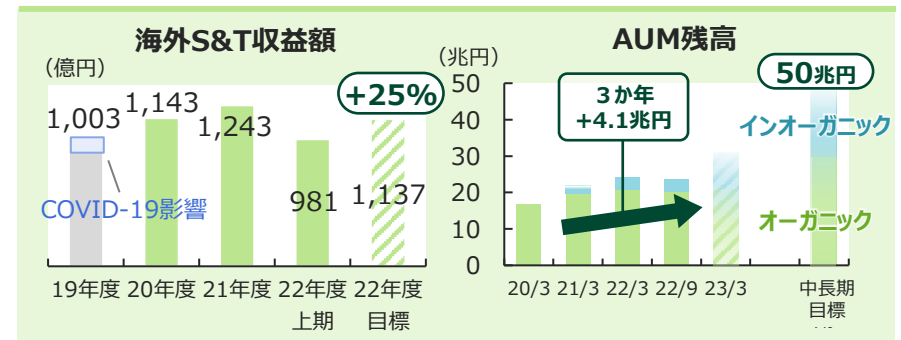
ペイメントビジネス



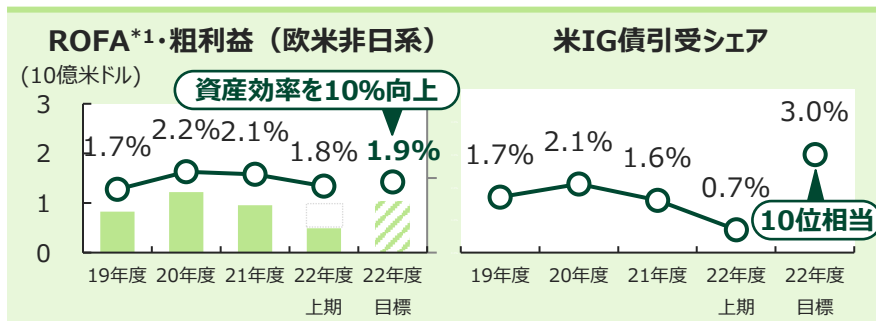
国内法人ビジネス



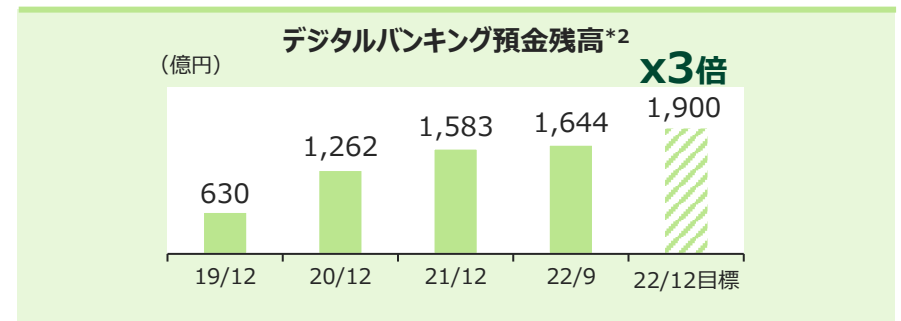
アセットライトビジネス



海外CIBビジネス



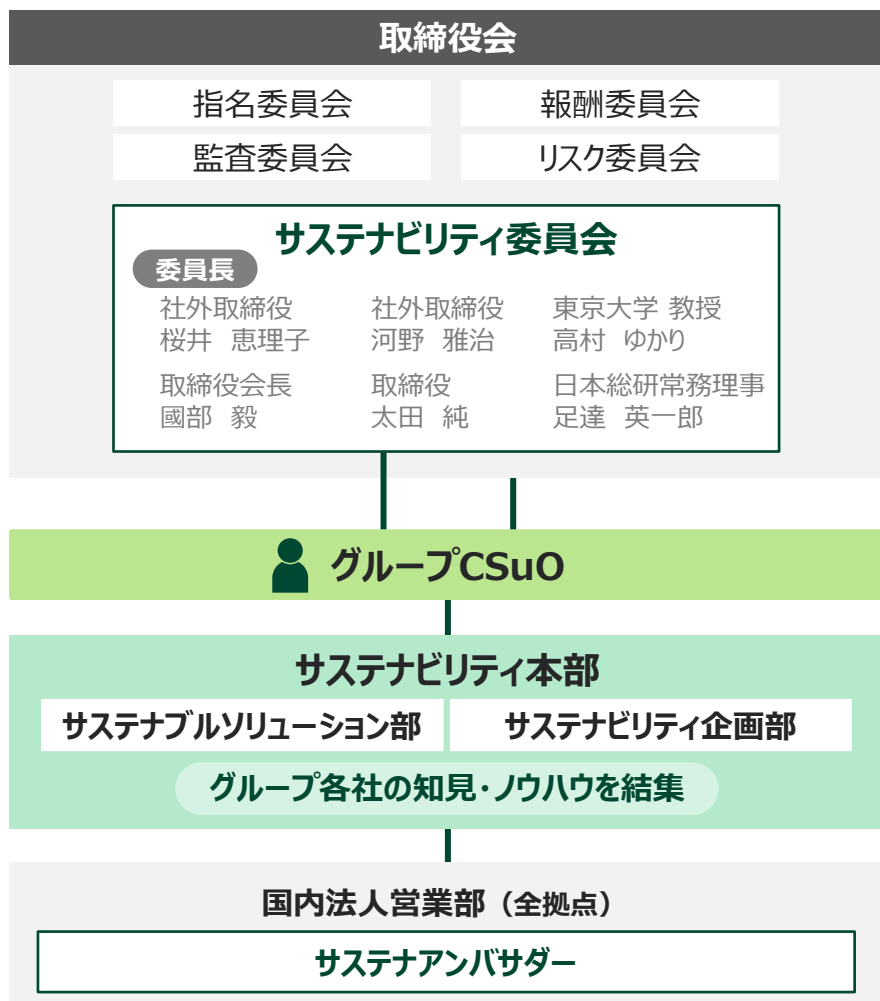
アジア戦略



*1 Return on Funded Asset (粗利益 ÷ (アセット + コミットメントライン)) *2 0.0095円/IDRで換算

ESG ①サステナビリティ経営体制

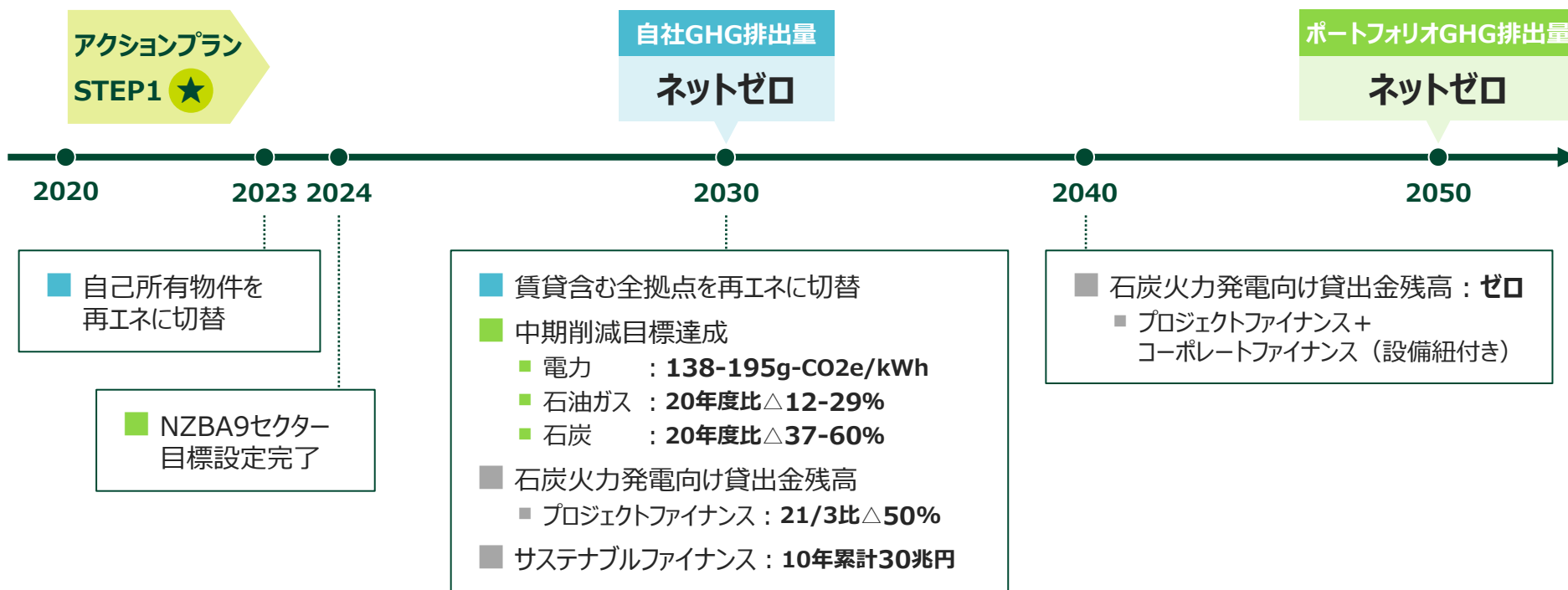
経営体制



役員報酬へのESG評価反映



ESG ② ネットゼロ実現に向けた移行計画



移行リスク低減・脱炭素化に伴う成長機会の拡大

体制整備	目標の設定	実装戦略	エンゲージメント実施
<ul style="list-style-type: none"> ★ ガバナンス体制の強化 ● ケイパビリティ・ビルディング 	<ul style="list-style-type: none"> ★ ポートフォリオGHG排出量の算定・削減目標の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ★ リスク管理強化 ★ 脱炭素化ビジネス推進 ★ 自社GHG排出量削減 	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまへのアプローチ ● その他ステークホルダー対応

ESG ③環境・社会リスクへの対応

気候変動リスクシナリオ分析

物理リスク

22/8 SSPシナリオ*¹による分析を追加

IPCC*²/RCP*³

IPCC/SSP

2°Cシナリオ、4°Cシナリオ

増加が予想される与信関係費用（-2050年）

累積▲550-650億円

累積▲**670-850**億円

移行リスク

22/4 分析対象セクターに、鉄鋼・自動車を追加

エネルギー

電力

自動車

鉄鋼

1.5°Cシナリオ、3°Cシナリオ

増加が予想される与信関係費用（-2050年）

年▲20-240億円

年▲**25-280**億円

新たな課題への対応

人権尊重

人権尊重に係る声明

従業員

お客さま

サプライヤー

22/10 導入

人権デューデリジェンス

22/4 制定

持続可能な調達方針

自然資本の保全

リスク管理

- 自然保護区域における事業への支援禁止
- 大規模プロジェクト融資時、環境社会リスク評価実施

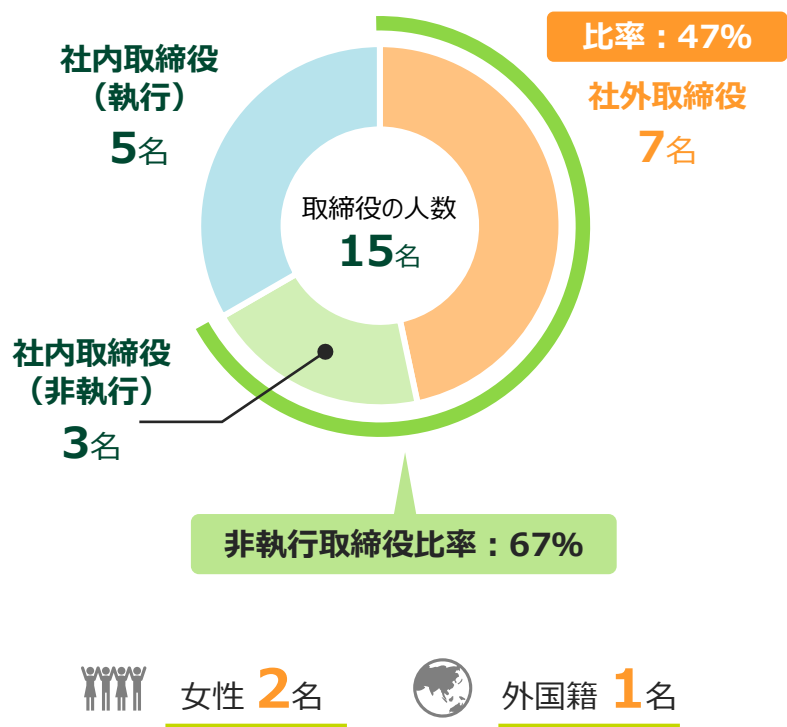
情報開示

- TNFD*⁴フォーラム参画

*1 共通社会経済経路シナリオ（Shared Socioeconomic Pathway） *2 気候変動に関する政府間パネル（Intergovernmental Panel on Climate Change） *3 代表濃度経路シナリオ（Representative Concentration Pathways） *4 自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures）

ESG ④ガバナンス

取締役会の構成



	当社が特に期待する知見・経験						
	企業経営	金融	グローバル	法務・リスク管理	財務会計	IT/DX	サステナビリティ
國部 毅	👤	¥	🌐	⚖️	🧮	💻	🌱
太田 純	👤	¥	🌐	⚖️	🧮	💻	🌱
高島 誠	👤	¥	🌐	⚖️	🧮	💻	🌱
中島 達		¥		⚖️	🧮	💻	🌱
工藤 禎子		¥	🌐	⚖️			🌱
井上 篤彦		¥		⚖️			
一色 俊宏		¥		⚖️			
川崎 靖之	👤	¥	🌐				
松本 正之	👤			⚖️			
アーサーM. ミッチェル	👤	¥	🌐	⚖️			
山崎 彰三				⚖️	🧮		
河野 雅治			🌐	⚖️			🌱
筒井 義信	👤	¥					
新保 克芳				⚖️			
桜井 恵理子	👤		🌐				🌱

ESG ⑤ステークホルダーとのコミュニケーション

サステナビリティ関連主要KPI

	ESG主要KPI	目標	実績
環境	サステナブルファイナンス 取組額	30 兆円 20-29年度	11.1 兆円 -22年度上期
	うちグリーンファイナンス	20 兆円	10.2 兆円
	グリーンボンド発行	年1回以上	-
コミュニティ	アジアリテール 預金残高	19/12比 3 倍 22/12まで	2.6 倍 22/9
次世代	金融リテラシー教育	150 万人 20-29年度	29.8 万人 -21年度
人材	女性管理職比率	20 % 25年度まで	17.0 % 22/3
	男性育児休業取得率*1	100 %	100 % 22/3

エンゲージメントを通じた企業価値向上プロセス

非財務情報の
開示充実



適切な
エンゲージメント

情報の
非対称性緩和
(資本コストの低下)

持続的な
企業価値向上

ESG評価
の改善

MSCI
ESG RATINGS

AA

CCC B BB BBB A AA AAA



企業価値

情報の
非対称性
外部評価

開示
対話

Fair
Value

非財務価値

財務価値

ESG ⑥ インデックスへの組入・イニシアティブ

ESGインデックスへの組入

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

S&P/JPX Carbon Efficient Index

2022 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

GPIF 選定インデックス

FTSE4Good

国内外イニシアティブへの賛同

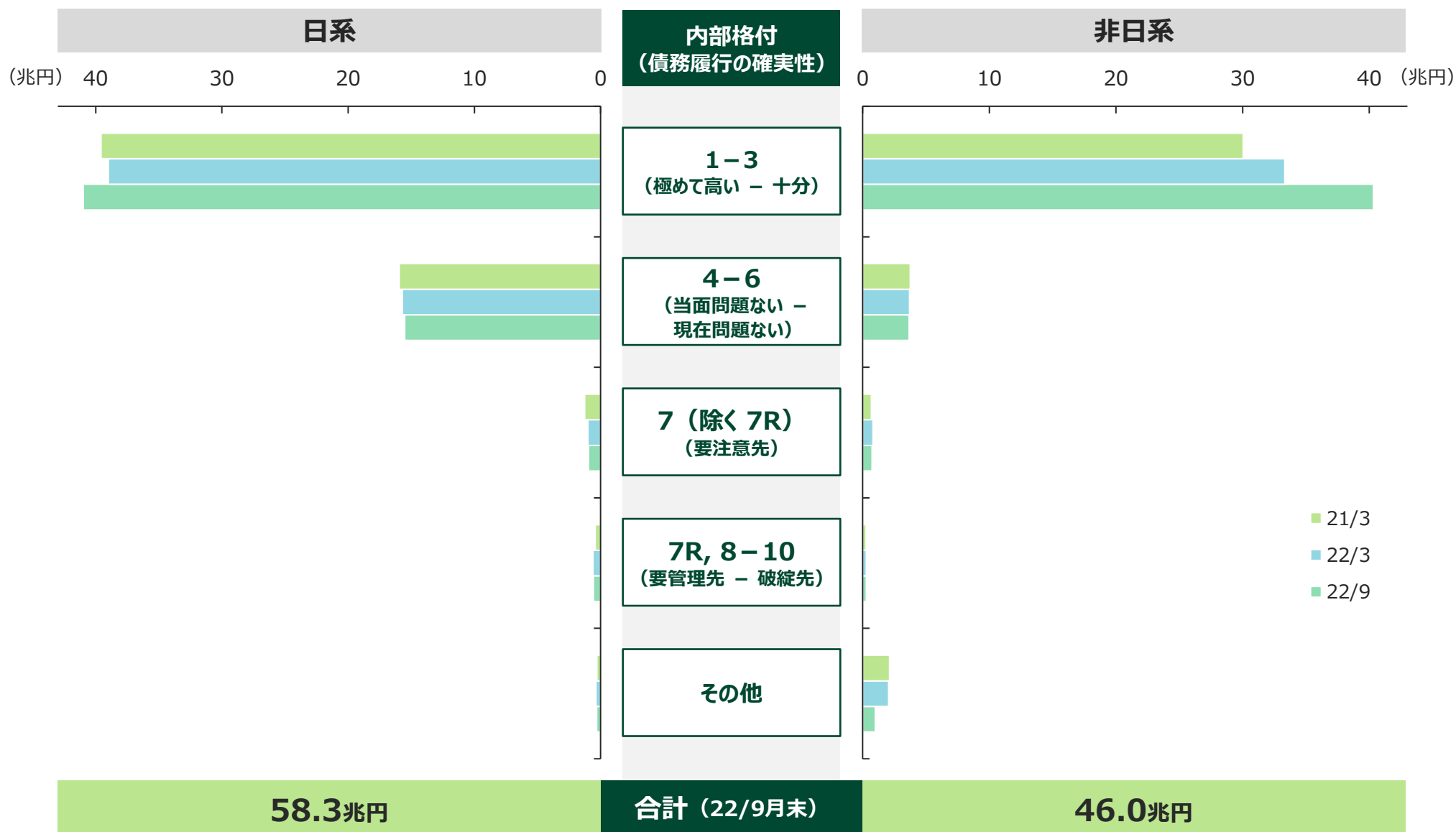
WE SUPPORT



Signatory of:



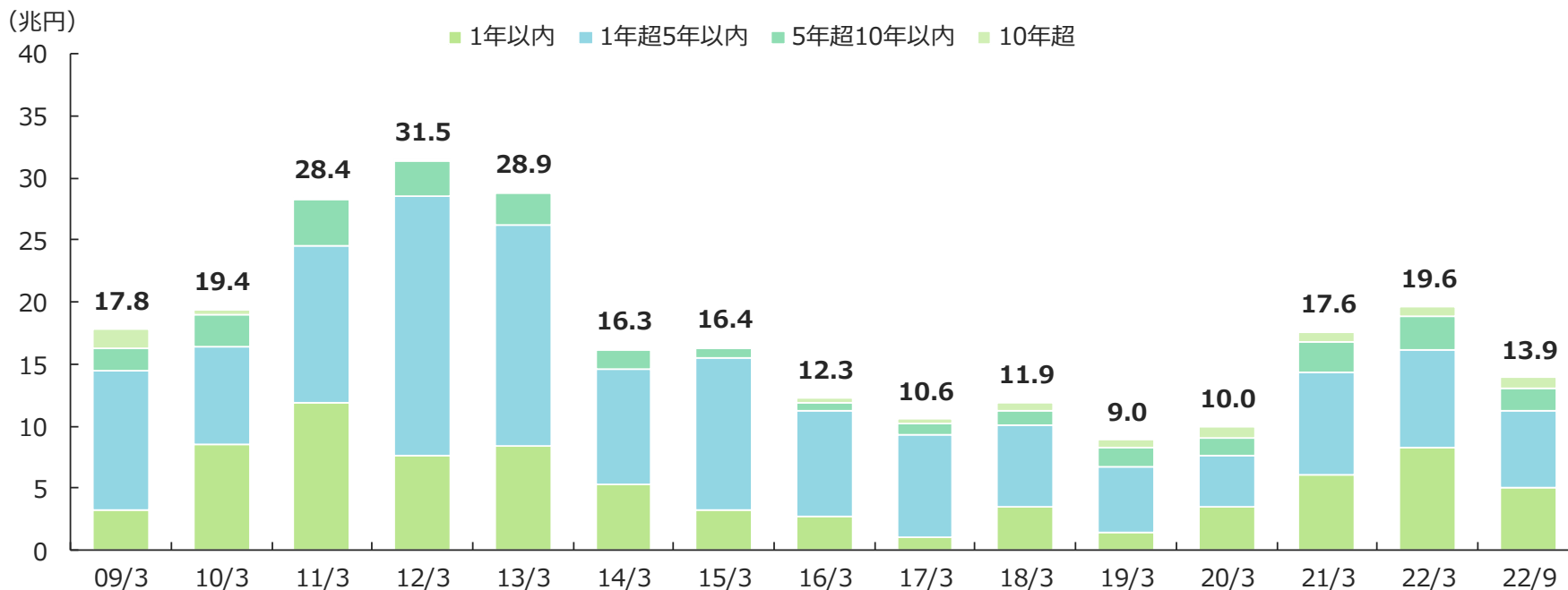
内部格付別ポートフォリオ*1



*1 内部管理ベース。グループ会社宛、日系先の個人・国・地方公共団体向けおよび案件格付管理先のエクスポージャーを除く。
 エクスポージャー = 貸出金 + 支払承諾 + 外為 + 私募債 + 仮払金 + コミット未引出額 + デリバティブ等

円債ポートフォリオ

BC単体（その他有価証券のうち満期があるものおよび満期保有目的の債券：国債・地方債・社債の合計）



うちJGB (兆円)	14.0	9.8	8.0	9.3	6.3	7.1	14.3	15.8	10.0
------------	------	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------

平均デュレーション (年) *1	1.8	1.1	1.4	1.9	1.8	1.1	1.8	2.8	2.9	2.3	3.2	2.9	2.5	2.8	2.9
評価損益 (億円) *2	▲12	1,161	719	1,044	953	600	459	1,038	575	442	605	214	79	▲497	▲663

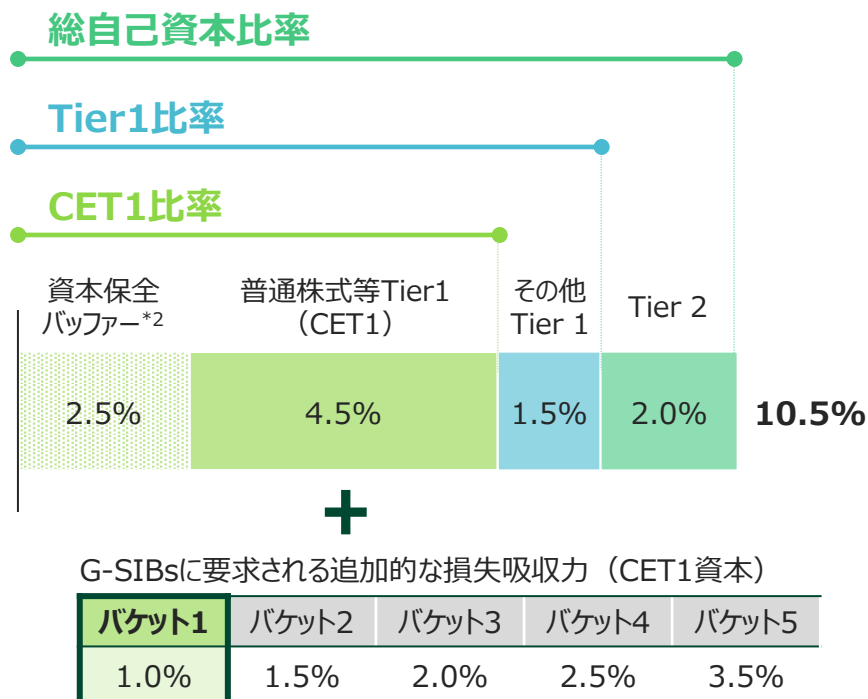
*1 ヘッジ会計適用分・満期保有分を除く、私募債を含まず。15年変動利付国債のデュレーションはゼロで計算

*2 09/3末以降20/9末まで、15年変動利付国債は合理的な見積り価額を用いて評価

バーゼルⅢ最終化スケジュール（自己資本比率）*1

		24/3末	25/3末	26/3末	27/3末	28/3末	29/3末
リスクアセット	信用リスクに係る標準的手法および内部格付手法の見直し						
	CVAリスク・市場リスクの枠組みの見直し						
	オペレーショナルリスクの計測手法の見直し						
	アウトプット・フロアの導入	50%	55%	60%	65%	70%	72.5%

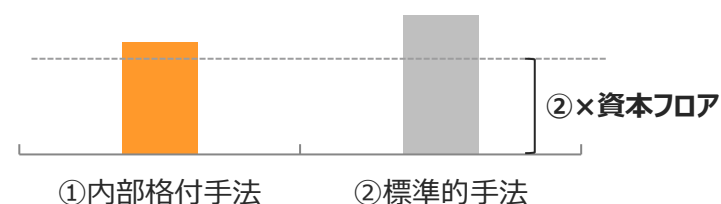
所要自己資本



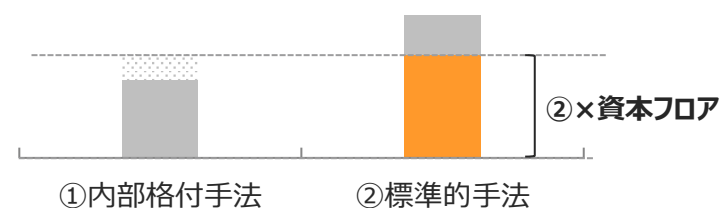
アウトプット・フロアの導入

- ①内部格付手法で算出したリスクアセット
- ②標準的手法で算出したリスクアセット

① > ② × 資本フロア → リスクアセットの額は①



① < ② × 資本フロア → リスクアセットの額は② × 資本フロア



*1 金融庁が未実施のバーゼルⅢ基準について実施時期の23年度末への延期を発表
 *2 カウンターシクリカルバッファ（CCyB）は省略

G-SIBsの格付 ①コア銀行*1

(As of Nov. 1, 2022)

Moody's	Moody's	S&P	Fitch	S&P Fitch
Aaa				AAA
Aa1				AA+
Aa2	<ul style="list-style-type: none"> Bank of America Bank of New York Mellon JPMorgan Chase Bank Wells Fargo Bank 		<ul style="list-style-type: none"> Bank of America Bank of New York Mellon JPMorgan Chase Bank State Street Bank & Trust 	AA
Aa3	<ul style="list-style-type: none"> BNP Paribas Citibank Crédit Agricole ING Bank Morgan Stanley Bank State Street Bank & Trust UBS 	<ul style="list-style-type: none"> Bank of New York Mellon Royal Bank of Canada State Street Bank & Trust Toronto Dominion 	<ul style="list-style-type: none"> HSBC Bank ING Bank Royal Bank of Canada Toronto Dominion Wells Fargo Bank 	AA-
A1	<p>SMBC</p> <ul style="list-style-type: none"> Agricultural Bank of China Bank of China Barclays Bank BPCE China Construction Bank Deutsche Bank Goldman Sachs Bank HSBC Bank ICBC Mizuho Bank MUFG Bank Royal Bank of Canada Société Générale Standard Chartered Toronto Dominion 	<ul style="list-style-type: none"> Banco Santander Bank of America BNP Paribas Citibank Crédit Agricole Goldman Sachs Bank HSBC Bank ING Bank JPMorgan Chase Bank Morgan Stanley Bank Standard Chartered UBS Wells Fargo Bank 	<ul style="list-style-type: none"> Barclays Bank BNP Paribas BPCE Citibank Crédit Agricole Goldman Sachs Bank Morgan Stanley Bank Standard Chartered 	A+
A2	<ul style="list-style-type: none"> Banco Santander Credit Suisse 	<p>SMBC</p> <ul style="list-style-type: none"> Agricultural Bank of China Bank of China Barclays Bank BPCE China Construction Bank Credit Suisse ICBC Mizuho Bank MUFG Bank Société Générale 	<p>SMBC</p> <ul style="list-style-type: none"> Agricultural Bank of China Bank of China China Construction Bank ICBC 	A
A3		<ul style="list-style-type: none"> Deutsche Bank 	<ul style="list-style-type: none"> Banco Santander Mizuho Bank MUFG Bank Société Générale 	A-
Baa1	<ul style="list-style-type: none"> UniCredit 		<ul style="list-style-type: none"> Credit Suisse Deutsche Bank 	BBB+
Baa2		<ul style="list-style-type: none"> UniCredit 	<ul style="list-style-type: none"> UniCredit 	BBB
Baa3				BBB-

*1 長期発行体格付（存在しない場合は、長期預金格付）（Moody's）、長期自国通貨建発行体格付（S&P）、長期発行体デフォルト格付（Fitch）

G-SIBsの格付 ②銀行持株*1

(As of Nov. 1, 2022)

Moody's	Moody's	S&P	Fitch	S&P Fitch
Aaa				AAA
Aa1				AA+
Aa2				AA
Aa3			<ul style="list-style-type: none"> Bank of America Bank of New York Mellon JPMorgan State Street 	AA-
A1	SMFG <ul style="list-style-type: none"> Bank of New York Mellon JPMorgan Mizuho <ul style="list-style-type: none"> Morgan Stanley MUFG State Street Wells Fargo 		<ul style="list-style-type: none"> Groupe BPCE HSBC ING UBS Wells Fargo 	A+
A2	<ul style="list-style-type: none"> Bank of America Goldman Sachs 	<ul style="list-style-type: none"> Bank of New York Mellon State Street 	SMFG <ul style="list-style-type: none"> Barclays Citigroup Goldman Sachs Morgan Stanley Standard Chartered 	A
A3	<ul style="list-style-type: none"> Citigroup HSBC <ul style="list-style-type: none"> Standard Chartered UBS 	SMFG <ul style="list-style-type: none"> Bank of America HSBC ING JPMorgan <ul style="list-style-type: none"> Mizuho Morgan Stanley MUFG UBS 	<ul style="list-style-type: none"> MUFG Mizuho 	A-
Baa1	<ul style="list-style-type: none"> ING 	<ul style="list-style-type: none"> Citigroup Goldman Sachs <ul style="list-style-type: none"> Standard Chartered Wells Fargo 		BBB+
Baa2	<ul style="list-style-type: none"> Barclays Credit Suisse 	<ul style="list-style-type: none"> Barclays Credit Suisse 	<ul style="list-style-type: none"> Credit Suisse 	BBB
Baa3				BBB-

*1 長期発行体格付（存在しない場合は、長期預金格付）（Moody's）、長期自国通貨建発行体格付（S&P）、長期発行体デフォルト格付（Fitch）